

令和4年度

学校訪問・WEB懇談会報告書

令和5年4月14日

全国内航タンカー海運組合

船員対策委員会

I. 令和4年度の学校訪問・WEB懇談会の活動を終えて

船員対策委員会では、例年実施して来ましたが、新型コロナウイルスの感染状況も終息が見えない中ではありましたが、個別に学校側の意向を確認した上で、実施要領(下表)を組合員に周知の上、学校への訪問とWEBによる懇談会を併用して施しました。

つきましては、活動内容を添付いたしますので、ご参考に供されますようお願いいたします。

訪問活動にあたり、当委員会委員はじめ各支部より多くの方々のご協力をいただき、また、各学校の先生、生徒におかれても学校行事が立て込んだ中、多大なご協力を頂きました。ここに改めてお礼申し上げます。

令和5年4月
船員対策委員会
委員長 内藤 吉起

令和4年4月20日

組合員 各位

全国内航タンカー海運組合
船員対策委員会
委員長 内藤 吉起

学校訪問・WEB懇談会参加ご案内

さて、当組合では、内航タンカー船員の高齢化・不足問題と若年船員確保の必要性から、令和4年度も学校訪問・WEB懇談会を実施いたします。

しかしながら、新型コロナウイルスの影響も未だ落ち着きを見せない状況下でありますので、学校側の希望を最優先に次のパターンにより対応することと致します。

① 先生とのみ少人数での訪問懇談、②生徒との懇談可能も少人数での訪問、③WEB上で生徒・先生とも懇談、④少人数訪問+WEBの組み合わせ、⑤本年度の学校訪問は中止

このため、当組合では決定したスケジュールに基づき、組合員に参加を募ることといたしますので、貴社の船員募集活動の一助として本機会を有効活用され、参加について前向きにご検討下さいますようご案内申し上げます。

記

1. 募集会社 … 参加会社の目的を問いません
(求人票を出す予定、学校との顔つなぎ、会社PR、情報収集等)
2. WEB懇談会 … 内タンが学校側とWEBでつないだ環境に各社が参加
内容は学校訪問と同じ(生徒・先生との懇談、参加社紹介等)
3. 学校訪問 … 訪問参加者の旅費・交通費・宿泊費は各社自己負担
※ 少人数制限の場合、募集しない場合もあります
4. 申込方法 … 別添「学校訪問・WEB懇談会参加申込書」記入の上、内タン本部宛お申し込み下さい。参加会社には、追って詳細連絡します。
5. 問合せ先 … 目次、山口 TEL 03-3556-6521

以上

Ⅱ. 学校訪問・WEB懇談会一覧表（令和4年度）

区分	No	地区	訪問校	実施日	方法	担当支部	訪問・WEB実績	
							社数	人数
海技教育機構	1	北海道	小樽海上技術短期大学校	11/7 15:30～	WEB	関東	14	21
	2	岩手	宮古海上技術短期大学校	10/28 15:10～	WEB	関東	12	19
	3	千葉	館山海上技術学校	3/1 14:30～	WEB	関東	15	21
	4	静岡	清水海上技術短期大学校	11/30 13:30～	WEB	関東	18	25
	5	佐賀	唐津海上技術学校	11/14 13:30～	訪問+WEB	関東・西部	15	20
	6	長崎	口之津海上技術学校	2/21 13:20～	訪問	西部	8	9
	7	愛媛	波方海上技術短期大学校	11/16 13:20～	訪問	四国	18	21
	8	兵庫	海技大学校(芦屋)	1/30 15:00～	WEB	関東・関西	7	13
水産高校	9	北海道	小樽水産高等学校	3/15 13:15～	WEB	関東	7	12
	10	茨城	茨城海洋高等学校	2/22 11:40～	WEB	関東	6	9
	11	神奈川	海洋科学高等学校(2回)	5/16, 12/21	訪問	関東	8	12
	12	愛知	三谷水産高等学校	10/31 13:20～	訪問	東海・関西	6	8
	13	三重	三重水産高等学校	1/11 13:30～	訪問	東海・関西	6	8
	14	福井	若狭高等学校	11/10 13:30～	訪問	関西	7	8
	15	京都	京都海洋高等学校	11/11 10:40～	訪問	関西	9	10
	16	鳥取	境港水産高等学校	12/22 13:00～	訪問	関西	4	5
	17	島根	浜田水産高等学校	12/14 11:00～	訪問	関西	5	6
	18	島根	隠岐水産高等学校	12/8 10:00～	訪問	関西	3	4
	19	香川	多度津高等学校	12/20 10:30～	訪問	関西	7	8
	20	愛媛	宇和島水産高等学校	1/17 14:50～	WEB	関東・四国	11	15
	21	高知	高知海洋高等学校	12/6 13:30～	訪問	関西	3	4
	22	福岡	福岡水産高等学校	12/8 14:50～	訪問	西部	0	1
	23	長崎	長崎鶴洋高等学校	11/7 13:30～	訪問	西部	1	2
	24	大分	大分海洋科学高等学校	3/22 13:20～	訪問	西部	9	11
	25	宮崎	宮崎海洋高等学校	12/13 13:40～	訪問	西部	0	1
	26	鹿児島	鹿児島水産高等学校	12/9 13:55～	訪問	西部	4	5
商船高専	27	富山	富山高等専門学校	6/1 15:45～	WEB	関東・関西・ 薬槽	3	8
	28	三重	鳥羽商船高等専門学校	5/20 13:00～	訪問	関西	5	6
	29	広島	広島商船高等専門学校	10/27 13:20～	WEB	関東・中国	6	11
	30	山口	大島商船高等専門学校	1/11 15:30～	訪問	関東	8	13
実施30校							225	316

海上技術学校・同短大	8	107	149
水産高等学校	18	96	129
商船高等専門学校	4	22	38
令和4年度計	30	225	316
令和3年度計	26	209	334
前年度対比	+4	+16	-18

学校訪問 報告書

訪問学校名	国立小樽海上技術短期大学校（WEB懇談会）
訪問年月日	令和4年11月7日 15:30～17:10
内タン参加者 14社、21名	久保山（幸洋汽船株）、三浦（大和海運株）、山田（明和タンカー株）、土井（三興運油株）、井上・黒井（イカガストランスポート株）、外城（英雄海運株）、小野田（櫛六甲船舶）、佐藤（コスモ海運株）、竹駒・亀ヶ川（昭和日タンマリタイム株）、武川（旭タンカー株）、山本・万屋（株デュカム）、齋藤（上野ロジテム株）、柘井・丹野（国華産業株）、薄井・山岸（鶴見サンマリン株）、山口・目次（内タン本部）
学校側面談者	前田課長、鈴木主任
実施事項	(1) 生徒全体説明 (2) 先生との情報交換、

懇談・意見交換概要

(生徒との懇談)

- ・参加生徒1年生36名（航海専科2期生）
- ・内航タンカーDVD視聴後に、各社より自社の紹介

(生徒からの質問)

- ・本日参加船社で、来年女子船員の採用予定はあるか？ 6社が挙手。
- ・仮バースの利用頻度はどのくらいか？
- ・各社、船員の出身地はどこが多いか？
- ・船員又は経験者への質問で、会社を決めたキッカケは？
- ・船員数が少ない会社は、多い会社に比べて良いところや特徴はあるか？
- ・会社の代表者への質問で、将来の会社発展のビジョンを聞かせて欲しい？
- ・在学中にやっておくべきことや、取るべき資格は？



(船社からの質問)

- ・現時点で内航タンカーを就職の選択肢として考えるか？ …11名挙手

(先生との懇談)

- ・今年の37名の進路は、内航船21名、うちタンカー13名で全体の35%、そのほかフェリー8名、タグ3名、官庁船2名、進学2名等。
- ・入学者集めには大変苦勞している。一人子など親が道外に出したくない例もあるが、当校の生徒は船乗りを目指す目的意識で入学しているので心配ない。

(船社からの質問)

- ・寮が無くなった影響は無いのか？ 団体生活が無い面で心配していたが、今のところ影響は感じていない。ただ今回が短大専科になっての初めての卒業生なので、就職してからの評価を聞かせて欲しい。
- ・37名の内、社会人経験者は何名か？ 4名。
- ・航海専科に変わって学力は上がったか？ まだ比較対象となる実績が無いので評価は難しいが、時間に余裕が出来た分、ロープワーク等、実技をきめ細かに指導出来るようになった。
- ・知床の事故でマイナスの影響は無いのか？ 現在の生徒には、より安全面の認識が深まったと思う。


(先生の依頼事項)

- ・短大の場合、今後も年配者（社会人経験者等）の入学が増える可能性があり、業界でも30代、40代卒業生の受入れをお願いしたい。

最後に、学生の就職活動と各社採用へのお互いの協力を確認し、懇談会を終了。

(以上)

学校訪問 報告書

訪問学校名	国立宮古海上技術短期大学校（WEB懇談会）
訪問年月日	令和4年10月28日 15:10～16:15
内タン参加者 12社、19名	三浦（大和海運株）、藤澤・久保山（幸洋汽船株）、山田（明和タンカー株）、武川（旭タンカー株）、柘井（国華産業株）、米倉・佐藤（イカガストランスポート株）、小川（コスモ海運株）、小野田（株六甲船舶）、亀ケ川・泉（昭和日タンマリタイム株）、齋藤（上野ロジケム株）、鈴木・万屋（株デュカム）、新井・馬場（シヨクユタンカー株）、山口・目次（内タン本部）
学校側面談者	佐々木副校長、荒井教務課長、田中学生課長ほか
実施事項	(1) 生徒全体説明（1年生）(2) 先生との情報交換、
懇談・意見交換概要	
<p>(生徒との懇談)</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加生徒1年生42名 内航タンカーDVD視聴後に、各社より自社の紹介 <p>(生徒からの質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> タンカーを運航する上での注意点は？ ケミカル船は体に悪いと聞いたが、本当か？ 自動荷役の船はどのくらい増えているのか？ コロナ禍や・燃料代が上がるなど、油の使用を控えている状況下、各社利益は確保出来ているのか？ 入社後の研修内容を教えて欲しい？ 在学中に取っておいた方が良い資格はあるか？ 新人船員が行なう、時間内、時間外作業の内容を教えて欲しい？ 各船型や船種、航行区域による乗員員数の違いを教えて欲しい？ <p>(参加船社から生徒への質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> 給料と休暇のどちらを重要視するか？ 若干「休暇」への挙手が多い結果。 現時点で内航タンカーを就職の選択肢として考えるか？ …13名挙手 <p>(先生との懇談) 応募状況、進路について</p> <ul style="list-style-type: none"> 応募状況は、45名の募集定員で、過去3年1.07→1.77→1.04 2年前コロナが影響したか瞬間的に増えたが、苦戦状況は続くと思われる。 本年度、海上就職希望者は全員内定を得た。内航船25名、うちタンカーは10名。 就職者の航海／機関の割合は、例年と同じでほぼ、航6／機4 本校では、船員の資質を向上させるため、自立、協調、責任感、リーダーシップ等醸成教育に注力。 <p>(船社からの質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> 入学定員減少の理由は？ 少子化の影響、体験入学が実施出来ないPR機会の減少も影響。 社会人経験者は？ 約1割、ただ当校の場合20代と若い生徒が大半。 セメント船の就職が増加しているが要因は？ セメント、ROROを選ぶ生徒は大型船志向。 <p>(先生からの質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> 水産高卒採用は専攻科が大半か？ 一般学校卒の区分は？ 水産校本科卒採用が多い。一般高は様々。 新人の離職を食い止める方策は？ 人間関係、ミスで怒られる等の原因が多く、配乗船を変えたり、悩み事を抱え込まないで、聞きやすい上司や会社の体制など工夫している。 <p>最後に、学生の就職活動と各社採用へのお互いの協力を確認し、懇談会を終了。</p>	
(以上)	

学校訪問 報告書

訪問学校名	国立館山海上技術学校（WEB懇談会）
訪問年月日	令和5年3月1日 14:30～16:20
内タン参加者 15社、21名	山本（コーウンマリン㈱）、土井（三興運油(株)）、岡・櫻庭（旭タンカー㈱）、米倉（イカストランスポート㈱）、外城（英雄海運㈱）、小川（コスモ海運㈱）、亀ヶ川・泉（昭和日タンマリタイム㈱）、三浦（大和海運㈱）、重信（日本ガスライン㈱）、薄井（鶴見サンマリノ㈱）、川上・坂谷（宇和海汽船㈱）、新井・馬場（シヨクユタンカー㈱）、山本・新江（㈱デュカム）、小野田（㈱六甲船舶）、柘井（国華産業㈱）、目次（内タン本部）
学校側面談者	今野副校長、山田教務課長、高橋指導課長ほか
実施事項	(1) 学生全体説明 (2年生) (2) 先生との情報交換、
懇談・意見交換概要	
<p>(学生との懇談)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加学生2年生33名（うち女子4名） ・内航タンカーDVD視聴後に、各社より自社の紹介 <p>(学生からの質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有給休暇は、乗船中か陸上休暇のどちらか？ ・船内にトレーニングルームはあるか？ ・外航がある船社で、外航船に乗る可能性は？ ・タンカー会社が採用したい学生の資格や人材は？ ・初めて船に乗る新人の教育環境は？ ・事故やトラブルによる死亡率は？ ・休暇終了後、乗船終了後の乗船・下船地は？ ・将来の自動化によって、働き先が絞られてしまう可能性はないか？ ・大卒と高卒で待遇面の違いは？ ・女性船員の年齢層や産休・育休の実態は？ <p>(参加船社から学生への質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現時点職務はどちらを志望するか？ デッキ・エンジン志望各15名で半々、他未定 ・現時点で内航タンカーを就職の選択肢として考えるか？ …6名挙手 <p>(先生との懇談) 進路・生徒指導について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内定先 … 3年生37名中33名就職（海上就職30名、うちタンカー9名） ・就職は、デッキ6割、エンジン4割 <p>(先生との情報交換)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最近、就職が売り手市場のため、学生が危機感をもっていない。船員として就職する強い心構えが必要なことも船社から指導願いたい。 ・離職する卒業生の情報は入るか？ データではないが、半数近くは職を替えているのではないかと。 ・春先からの会社訪問等は可能か？ また、従来の1者1社制でなく複数会社への訪問もよろしいか？ コロナ以降、訪問もWEBも可能である。他社の複数訪問も企業は構わない。 ・タンカー会社の離職率はどうか？ 会社によってまちまちだが、全体では早く離職する傾向が出ている。 ・学生の傾向としては、しっかり休暇が取れる会社を希望している。 ・小型船事業者としては、甲機両用教育を行う学校を残して欲しい。 <p style="text-align: right;">(以上)</p>	



学校訪問 報告書

訪問学校名	国立清水海上技術短期大学校（WEB懇談会）
訪問年月日	令和4年11月30日 13:30～15:30
内タン参加者 18社、25名	藤澤・久保山（幸洋汽船株）、高木（大和海運株）、柘井・丹野（国華産業株）、山田（明和タンカー株）、松本（松盛汽船株）、山本（コーウンマリニ株）、土井（三興運油株）、外城（英雄海運株）、井上・黒井（イノガストランスポート株）、小野田（株六甲船舶）、小川（コスモ海運株）、武川（旭タンカー株）、山本・万屋（株デュカム）、齋藤（上野ロジケム株）、新井・馬場（シヨクユタンカー株）、亀ヶ川・泉（昭和日タンマリタイム株）、浜崎（浜崎海運株）、薄井（鶴見サンマリニ株）、目次（内タン本部）
学校側面談者	佐々木課長ほか
実施事項	(1)生徒説明（1年生） (2)先生との情報交換

懇談・意見交換概要

(生徒との懇談)

- ・短大1年生 114名（うち女子 16名）
- ・内航タンカーDVD視聴後に、各社より自社の紹介

(生徒からの質問)

- ・学校で学ぶこと以外にやっておくべきことは？
- ・タンカーに乗った新人が行なう具体的な仕事は？
- ・新人の乗船以外での研修方法は？
- ・学生のうちに身につけるべきスキルは？
- ・タンカーに乗るに当たっての覚悟は？
- ・女性船員の産前・育児休暇や産後復帰の実績を教えてください？



(船社からの質問)

- ・現在、自社に女性船員はいないが、女子船員1号になることに抵抗はあるか？ 抵抗は無い。
- ・ケミカル船は、石油タンカーに比べ危険と思うか？ 半数近くが挙手。
- ・内航タンカー船社への就職を視野に入れているか？ 約3割が挙手。
- ・女性船員が乗船して、船や会社としてメリットがあれば教えてください？
- ・給料と休暇、どちらに重きを置くか？ 給料4割・休暇6割。

(先生との懇談) 進路・生徒指導について

- ・現2年生の内定状況 … 8割が内定、内定者のうち7割が内航、うち3割がタンカー
- ・エンジン就職が6割、デッキが4割（例年と逆）
- ・現1年生は、春休みから会社訪問の開始、受け入れをお願いしたい。

(船社から質問)

- ・生徒の質問や回答がしっかりしていた印象だが？ … 教育方針と社会人経験者もいる。
- ・社会人経験者は？ … 大卒や社会人経験者は2割程度、30～40代のミドル世代、女子生徒など年々割合が増える傾向にある。
- ・卒業生が辞めてしまう原因は聞いているか？ … 現場での人間関係、悩みが相談出来ない場合が多い。
- ・メンタル的に弱い学生は多いのか？ … 怒られない教育を受けて来た学生が多いので、学校でも工夫。
- ・ケミカルの危険認識にショックを受けたが？ … 現1年生の認識なので、今後、船種の教育を行う。

(先生か質問)

- ・AI、自動運航など、将来の船員の職域は？ その方向に向うであろうが、相当数時間を要する。
- 最後に、学生の就職活動と各社採用へのお互いの協力を確認し、懇談会を終了。

(以上)

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	国立唐津海上技術学校
訪問年月日	令和4年11月14日(月) 13:30~15:40
訪 問 者 15社、20名	(訪問) 三浦(大和海運(株))、浜崎(浜崎海運(株))、武川(旭タンカー(株))、松本(松盛汽船(株))、 山下(コウ・マリン(株))、佐藤(浪速タンカー(株))、本多(株六青和シッピング)、薄墨(事務局) (WEB) 黒井・佐藤(イノカストランスポート(株))、山田(明和タンカー(株))、山本・萬屋(株テックム)、 泉・亀ヶ川(昭和日タマタイム(株))、小野田(株六甲船舶)、竹本(日本ガスライン(株))、 薄井(鶴見カンマリン(株))、山本(コウ・マリン(株))、目次(事務局)
学校側面談者	遠藤校長、野崎副校長、本山指導課長、鬼塚教務課長、佐々木教諭
実施事項	①先生との懇談 ②生徒との懇談(2年生28名)

懇談・意見交換概要(別紙添付も可)

(先生との懇談)

- ・唐津校の現況資料(入試状況、生徒数、出身地、求人状況、進路状況、試験合格状況など)の配布・説明
⇒課題は、御校を希望される学生が少なくなって来ていることが一番問題で、船乗りは良い職業であること
をもっとPRして行かなければならないと感じました。(会社)
⇒学生は休暇といったが、船員も働き方改革で休暇が増えて、給料も高く船員という職業は希望のある職業
であることを生徒に言って欲しいと思います。(会社)
- ・内航タンカーの現況を配布・説明
- ・学校が定員割れという状況のなかで、船に興味を持ってもらうために、こういったことを業界にして欲しい
という要望があれば教えて欲しい。(会社)
⇒一般の方は、船の業界を知らないのでオープンキャンパスの際に、講演を是非お願いしたことと、小・中
学生へ海運、海事思想の普及に取り組んで欲しい。また、メディアからの発信も重要だと思う。
- ・1年生が最後の技術学校としての卒業生。その後、短大になるが定員は何名か。(会社)
⇒45名です。
- ・機関士の養成に対しての方針はどのような状況でしょうか。(会社)
⇒入学の7割が航海志望で、今の2年生も機関士志望が6名。本部では、複数クラスを持つ学校が1クラス
機関クラスを設けるなど検討しているとは聞いている。
- ・学校側として何か問題を抱えているのであれば、お聞かせ願いたい。(会社)
⇒学校側も教員不足。応募を掛けても応募がない。それと資金不足。設備の
整備、航海訓練の燃料代が非常に苦しい。

(生徒との懇談)

- ・DVD視聴
- ・参加各社より自社の紹介
- ・各社の強みや特色について教えてください。(生徒) ⇒参加した各社より、会社の強みや特色について発言
- ・先輩方はどのくらいで乗り組み定員に入ってくるか(生徒) ⇒各社違うと思うが、当社では1年間です。
⇒定員の考え方では、船の大きさが重要で1人当直か2人当直かで決まる。2人当直の場合であれば、70
日航海で3回目の乗船で定員に入ってくる。1人当直の場合は、1年くらい大きな船に乗ってからとなる。



- ・タンカーに興味を持った方は挙手してください。(会社) ⇒28名中12名の方が挙手。
- ・生徒さんたちが魅力を感じる会社とは(会社) ⇒船に乗った後に悩みが出ると思うので、陸に戻った時にアンケートとか、悩みを聞いてくれるような制度や上級免状の取得のサポートなどがあれば良い。
- ・石油の積み込みの際に静電気を防ぐために、徐々に積み込みをやりと説明があったが、どういう過程で静電気が起きるのか。(生徒) ⇒タンクの底のベルマウスというのがあって、それが漬かるまでは静電気が起きる危険があるから、徐々に積み込みをしている。 ⇒学校に「内航タンカー安全指針」という本を送っているの、内航タンカーを勉強したい場合には見てください。
- ・悩みとかあったときどうするか。(生徒) ⇒乗組員に辞めたいと感じたのは何時かと聞くと、最初の乗船という方が多い。解決策としては、仲間や上司に相談して解決した方が多かった。皆さんの声を聴くということを大切にしている業界なので、その点は安心して欲しいと思います。
- ・貨物船とタンカー船を比べて特別な心構えがあれば教えて欲しい。(生徒)
 - ⇒運ぶ荷物の特性や船の構造に応じた知識が必要だと思います。
 - それと仕事にメリハリを如何に付けるかが重要だと思います。
 - ⇒タンカーは貨物船に比べ安全に関するルールが非常に厳しい。
 - 入社が決まると静電気が発生するような服装は着用しないよう指導をしています。
 - ⇒タンカーは、危険物を運んでいるため、非常に緊張感をもって仕事をしているので、覚えるのが早いと思うし、船員としての基本中の基本の船種だと思います。
- ・タンカー船が他の船種に必ず勝てるという点があれば教えて欲しい。(生徒)
 - ⇒タンカーは、船の構造的な部分が勝っている。
 - ⇒タンカー船の船乗りは、給料が良いです。
 - ⇒災害防止のための安全面が勝っている。
- ・タンカーは、安全に気を付けるためのルールがあると思うが、慣れるまでに一番きついルールは何か教えて欲しい。(生徒)
 - ⇒船員になると、幾つもの壁にぶつかるが、やりがいも必ず生まれてくる。何時訪れるかわからないが、それまで頑張りましょう。それが船乗りの魅力です。
- ・自分たちがこれから学んで行くうえで、こんなところに気を付けて欲しいとか、若者の力に期待するところなどを教えて欲しい。(生徒)
 - ⇒学校で学んでいることが一番大切です。求めることは、退職理由の一番は人間関係なので、基本的にコミュニケーションを大事にして欲しい。
 - ⇒向上心を持って勉強するのも一つの方法。知ったかぶりをせず、分からないことは聞く。メモをきちんと取る。上職から頼まれ出来ないときは、きちんと理由を伝えることが重要。謙虚な気持ちを忘れないこと。
 - ⇒実技で苦手なことをやり過ぎさないこと。キチンとやっておくことが大切です。
 - ⇒何事も積極的に取り組んでやっていくという気持ちが必要。また、仲間の中でリーダーシップをとって行くことも一つの方法だと思います。
- ・これから社会に出て優先するものは、給料ですか。それとも休暇ですか。(会社)
 - ⇒給料を優先すると回答した者1名。



学校訪問報告書

訪問学校名	国立口之津海上技術学校
訪問年月日	令和5年2月21日(火) 13:20~15:30
訪問者 8社、9名	三浦(大和海運株)、岩永(浜崎海運株)、阿久津(旭タンカー株)、松本(松盛汽船株)、重信(日本ガスライン株)、佐藤(浪速タンカー株)、本多(櫛六青和 Shipping)、山田(明和タンカー株)、薄墨(西部支部)
学校側面談者	鶴田校長、黒田副校長、楠指導課長、ほか
実施事項	①先生との懇談 ②生徒との懇談(2年生24名、1年生18名)

懇談・意見交換概要(別紙添付も可)

(生徒との懇談)

- ・DVD視聴
- ・参加各社より自社の紹介

(生徒からの質問)

- ・航海中の居眠り防止のためにやっていることはありますか。
⇒タンカーも貨物船も全て居眠り防止装置を付けています。
タンカーのほとんどブリッジに椅子を置かず立直で、居眠りし難い環境を作っています。
- ・ケミカル船で大きい船は何トンですか ⇒一番大きいかどうか分かりませんが、2~3隻は1,000G/Tのケミカルタンカーがいるのは確かです。ただ、749型~499型が多いです。
- ・Wi-Fiの環境について教えてください ⇒Wi-Fi環境はほぼ全船整備されていると思います。また、アマプラやユーチューブも見られる船もあります。
- ・タンカーで一番危険なことは何ですか ⇒タンカー船に限らず、出入港が一番危険だと思います。係船機を使った作業は誰でも一度は怒られる作業になると思います。また、タンカーは船内ルールを順守すれば安全です。
- ・乗組員は海技免状以外にどのような資格・免許が必要ですか ⇒海技免状以外に必要な資格は無いと思います。ただ、会社に入って危険物取扱責任者の訓練を受けてもらうことになります。
- ・乗船中に勉強する時間はありますか ⇒乗船したての頃は、覚えることが多くて、まず時間がないと思います。在学中にしっかり勉強して、資格を取っておいた方が良いでしょう。
- ・タンカーだからこそ他の船より気をつけなくてはいけないということはあるですか ⇒1点目が火気厳禁。2点目が油を海上に流出させないこと。そしてもう一つが、静電気です。
- ・タンカーに乗って感じるやりのいいは何ですか
⇒機関場では、壊れた機器を自分で直せるとやっぱりとても気持ちが良い。また、甲板部では、やはり着時間でうまく行った時にやっぱり非常にやりがいを感じます。東日本大震災のときには、自分たちが石油を運ばないと国民の生活が滞ってしまうことを、非常に実感し、やりがいのある仕事だと感じた。
- ・荷役作業での必需品はありますか ⇒特にありません。必要なものは会社から支給されます。
- ・荷役で大変なことはなんですか ⇒航海士志望の方が苦勞されるのが、配管図が読めなければいけないということ。機関場の方が荷役に参加した時は、バルブの操作やポンプの操作などで苦勞しているようです。後は、石油の品質やガスの性質などです。



- ・荷役作業以外にも忙しいことがありますか ⇒新人のうちは、仕事内容の予習や復習を繰り返して仕事を覚えなれないといけないので、寝るとき以外は忙しいと思います。
- ・女性でも働きやすい職場ですか ⇒基本男性も女性もあまり変わりません。女性船員が乗船していても、女性専用の部屋・シャワー・風呂・洗濯機・トイレなどがあれば、溶け込みやすいと思います。
- ・女性で苦勞することはありますか⇒バルブを操作する船の場合には、バルブを回すのに力が要るので苦勞するかもしれませんが、バルブ操作がなければ、女性と男性の差はないと思います。
- ・女性の乗組員の割合はどのくらいですか ⇒乗っている船と乗っていない船がありますが、当社で乗っている船だと11名中2名以上が女性となっています。
- ・力が必要と覚えることがありますか⇒力が必要なのはバルブ操作くらいで、後は、船の部品やペイント缶などの船へ積込むとき。機関部の人には部品交換をする場合に2〜3人で行うことはあるが、全般的に力仕事は少ない。
- ・乗船中に怪我や病気などをしてしまった場合にはどうしたらいいでしょうか ⇒病院に行ってください。海上保安部を通じてドクターヘリを要請できるし、船では病院と連絡が出来ますので、病院から治療方法なども教えてくれます。また、船内には医薬品なども備えられています。
- ・MOがありますか。 ⇒船によって違います。MOがある場合は、荷役が無ければ基本勤務時間は8時5時。ただ、アラームが鳴ったら何時だろうとエンジン場まで行って状況を確認しています。

(会社からの質問)

- ・どんな船員になりたいですか⇒信頼される船員というか、任務を遂行できるよう乗船したら強い責任感をもって仕事をしたい。
- ・皆さんにお聞きします。この中でタンカーに興味ある人 ⇒13名が挙手
- ・2択の質問です。
 - ①会社を選ぶときに少くも乗船が伸びても給料が高い方が良い。
 - ②給料はそこそこで良いが休みがちゃんと取れる会社。乗船はあまり長くない会社が良い。
 ⇒①1名、 ②残りの学生全員



(先生との懇談会)

- ・生徒さんが就職され早期に離職される方が居られますが、先生方から見て何が原因か分かれば教えてください。(会社)

⇒子供の質だと思います。要するにガットと言われて辞める。辞めた生徒からは、「何で自分が怒られなきゃいけないのか」。きつい言葉しか掛けてもらえなかった。あとは「見て覚えろ」、「休みがない。」など
- ・OJTの中で新卒者用のカリキュラムみたいなものを作られているのでしょうか。(学校)

⇒1か月、3か月など期間を区切って目標項目を設定し、船長・機関長にチェックをしてもらうようにしており、会社としても内容は確認をしている。
- ・今の若者が、どの程度怒られたらじゃあ辞めますみたいなことになるのか、その元って何だと思われませんか。(会社)

⇒分からないが、現在の1年生は、自分から動かない実際に自分からどうやって動けばいいのかということ

は一切できないのが現状です。それを3年かけて船員に成長させる。

- ・定着率について、3年ベースで考えると何パーセントぐらいですか。(学校)

⇒正確には分からないが、1年目・3年目・5年目の壁があり、5年続けば続くと思っている。やはり、船員には、きちんと説明して納得してもらうよう努力している。ただ、船員不足のため、同級生などからの引き抜きがあるようだ。

- ・新人さんが乗船したとき訪船をやられていますか。(学校)

⇒毎月ではないが訪船をして、いろいろな話を聞くようにしています。

⇒何かあれば直接会って心のケアをするなど早期の離職防止に取り組んでいます。一方、上職者の皆さんには、時代は変わっているので、指導方法などを指導しています。

- ・船員の給料と陸上の給料の差が縮まり、船員の優位性というのが無くなってきていると思うが、先生から見て船員の魅力は何だと思えますか。(会社)

⇒生徒たちの志望動機を見ると、将来どうなるかと考えた時に、船は無くならないと思って受験をしたという生徒が多いです。

- ・生徒さんはタンカーに興味を持ってくれているので安心だが、ガス船の人気の無いと聞くがどうですか。(会社)

⇒生徒は、未だLNGとかLPGとかの違いが良く分かっていない。これから船種のことも理解して行くことになる。

- ・体験乗船について、協会などで話しが出ているか。就職の内定をもらった者は、乗船実習をさせることにより、定着率や試験合格率も上がると思うのだが。(学校)

⇒先日協議会が開かれたので、参加したが未だコロナの影響により、受け入れ会社が少ないというのが現状。インターンシップは、良い方法だと思っている。

- ・唐津海上技術学校が、航海専科の短大に変わったが、口之津も同様になる予定はあるのか。(会社)

⇒その件については、私共は分からない。ただ、今の航機両用教育というのが、生徒にとっても教員にとっても一番良い教育方式だと思っています。

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	国立波方海上技術短期大学校		
訪問日	令和4年11月16日		
訪問者 18社 21名	内タン副会長・四国支部長 山本 宗宏 はじめ、(18社19名)、事務局		
	イ班 (10社11名)	ロ班 (8社8名)	
	事業者名	参加者氏名	事業者名
	1 山本汽船(株)	山本 宗宏	1 東汽船(株)
	2 幸洋汽船(株)	久保山 知未	2 金力汽船(株)
	3 三津浜汽船(株)	坂木 有恒	3 日本ガスライン(株)
		藤岡 良孝	4 明和タンカー(株)
	4 旭タンカー(株)	武川 行介	5 (株)六甲船舶
	5 浪速タンカー(株)	佐藤 佑樹	6 大和海運(株)
	6 国華産業(株)	辻村 康治	7 浜野海運(株)
	7 (株)エスワイプロモーション	野間 司	8 新居浜海運(株)
	8 (株)六青和 SHIPPING	本多 昭博	
	9 コーウン・マリン(株)	山下 良一	
	10 松盛汽船(株)	松本 雅彦	
校側面談者	校長 野村哲也・副校長 庄司大志・佐々木学生課長		
実施事項	第一部 2クラスに分かれて学生全体への説明会 第二部 事業者と学校側との意見交換・懇談会		
<p>学校訪問の概要</p> <p>(1) 上記の実施事項欄の2部会にて実施した。</p> <p>(2) 部会別では</p> <p>第一部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生全体への説明会(内航タンカーは若い力を求めています DVD 放映→参加組合員の自己紹介→質疑応答を実施) 2クラスに分かれて学生全体への説明会(1年生 85名 教員3名) ・訪問事業者を2班に分けて開催。 ・学生から多岐にわたる質問が続出し極めて充実した説明会となった。 <p>質疑内容の一部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給与や休みの問題を除いて、「各社の、よそにない独自の取り組みと魅力を知りたい。」 福利厚生クラブに加入しており利用できる、女性が多くどの船も一人は女性が乗船、毎月写真のコンテストをしており参加でタオル・毎月の優勝者のバスタオル提供などの各社の発表あり ・タンカーは、守るべきことが貨物船などに比べて特に厳しいと思いますがそれは何か？ 乗船経験のある船主の社長が出席しており、基本に忠実に仕事を行うことの大事さを説明した。 			



- ・危険物の取扱いに知識がなく不安である。
- ・休日前に急に交代の勤務になる事はありますか。
- ・タンカー船の良いところは何ですか。
- ・入社的事前習得すべき技能・知識はありますか。
必ずではないが航海士としては、無線資格があれば良い。
入社して各社の費用負担で資格は取得してもらうから心配
いらぬ。
- ・令和4年度 内航タンカーの現況（内タン本部作成資料）の
P5「内航タンカー企業への就職状況（3月新卒生）」では、
平成29年以降、令和3年までの実績で、「海上技術学校・短大卒生」より「水産高校卒」の方が多
くなっているが、タンカー企業の新卒者採用についての考え方をお聞きしたい。
- ・配布されたパンフレット「海へ」のP4（船員Q&A）で、
長い休暇中（下船中）にも給与が支払われるとなっていま
すが、どうしてですか。
- ・化石燃料（油）の消費が世界的に減少傾向にあるが、タン
カー船の今後の見通しはどうですか。
- ・タンカー企業に就職したい。伸びる船員とはどのよう
な船員を言うのか。
- ・大型4級より上の免許を取りたいが、事業者から費用
補助等をしてもらえるのか。
また、上位資格を持っているメリットとして、手当等で処遇してくれるのか。
- ・タンカー船は貨物船と比較して手当等が多いと言われているが、金額で言えばどの程度か。
- ・将来を見据えて聞きたい。職務的には船長と機関長では給与面での差はどれくらいあるのか。
- ・積荷の変更により、タンク掃除が必要と言われているが、どのような場合が想定されるのか。
- ・新卒採用者が、部員から職員に昇任されるのにはどれくらいの期間が必要となるのか。



等々

第二部 学校と組合の現状説明と情報交換会・現状説明

- ・内航タンカーの現状について（谷口四国支部事務局次長から）
- ・学校作成資料の説明について（野村校長先生から）

- 資料1 ・実受験者数 28年度がピーク。以降は漸減推移し
ていたが、4年度は定員 90名に対して実受験者
109名と過去最低であり危機感を持っている。
- ・オープンキャンパスを毎年 5～6月行っている
が、ここ数年コロナの発生によりアピールでき
ず。
 - ・少子化により、親が地元から出たくない。
- 資料2 ・受験者の出身地では九州と四国出身者で 45.6%
を占める。
- 資料3 ・四級海技士口述試験結果は 28年から目標値の 95%以上の合格を堅持している。



- 資料 5 ・令和 3 年度卒業者の就職内定状況は、タンカー就職者 24 名・前年比+2 名。貨物船 28 名・前年比+0 名、フェリー旅客船 13 明前年比▲2 名。
- ・航機別内定先は、航海 50 名・機関 31 名・両用 1 名の内訳。機関が漸増傾向。
 - ・同校の就職内定時期は他校より早く 7 月～9 月にほぼ内定する。
 - ・校長・副校長・教諭等との個別名刺交換時間を設定し実施した。

情報交換会

- ・校長先生から以下の質問、要望等
船員未経験者を新規採用するなら年齢についてはどのように考えているか。」
50 才までなら可能という船主がいた。
- ・本校には多数の女子学生が学んでいるが、タンカー企業には積極的な採用を希望したい。
- ・事業者から、一度企業などに就職して波方短大で学んだ人材はとても優秀であり、仕事に対する意識がとても高いと評価しているとの発言あり。
- ・既卒・社会人の新入生の割合はどのくらいか？
2 割くらいとの説明有り。

(3) まとめ

同校から毎年多数の卒業生が組合員企業に入社している事もあり従来から極めて良好な関係を維持してきた。

今後も両者が安心と安全を求める生徒の教育と企業体質を維持する事を共感しつつ終了した。

以上

学校訪問 報告書

訪問学校名	国立海技大学校 (WEB懇談会)
訪問年月日	令和5年1月30日 15:00~16:40
内タン参加者 7社、13名	三浦 (大和海運(株))、土井 (三興運油(株))、杉山・米倉 (イノガストランスポート(株))、 外城 (英雄海運(株))、浜崎 (浜崎海運(株))、上野・山本 (コーウンマリン(株))、 亀ヶ川・泉 (昭和日タンマリタイム(株))、山口・目次 (内タン)、上村 (内タン関西支部)
学校側面談者	中村学生課長ほか
実施事項	(1) 学生全体説明 (1年生) (2) 先生との情報交換、 懇談・意見交換概要

(学生との懇談)

- ・参加学生1年生13名 (デッキ9名、エンジン4名) うち1名女子
- ・内航タンカーDVD視聴後に、各社より自社の紹介



(学生からの質問)

- ・硫黄は固体だと思うが、どのようにしてタンカーで運ぶのか?
- ・各社の船は、1ヶ月何航海するのか?
- ・3級免状取得者と短大4級取得者で、就職時の差はあるのか?
- ・各社は一律部員でのスタートか? 3級で職員スタートの会社はあるのか?
- ・職員へのプロモートの時期、判断基準を各社に聞きたい?

(参加船社から学生への質問)

- ・給料と休暇のどちらを重要視するか? 給料1名、休暇12名
- ・タンカーに興味がある学生は? 3名

(先生との懇談) 進路・学生指導について

- ・2年生の進路先は、デッキ8名内定 (外航1、官庁1、内航6 うちタンカー2)、
エンジン2名内定 (外航ドライ1、冷凍マグロ1)
- ・学生は全てJMETS各校を卒業後に入学
- ・求人票は3/1から受付、6/1学校推薦状、10/1正式内定日
- ・本1年生から、1年時10~12月乗船、2年次7~9月乗船に変更、就職面談等配慮願いたい
- ・今後のお互いの協力を確認し終了

(以上)

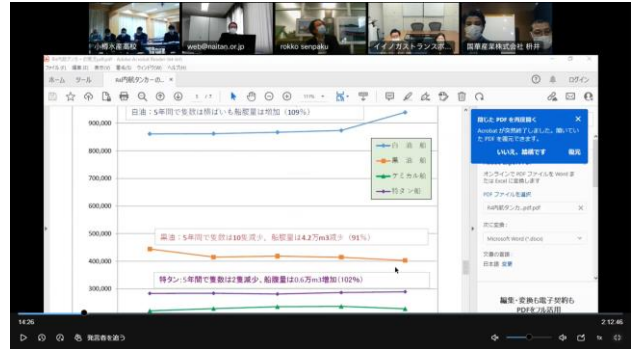
学校訪問 報告書

訪問学校名	北海道小樽水産高等学校 (WEB懇談会)
訪問年月日	令和5年3月15日 13:15~15:10
内タン参加者 7社、12名	久保山 (幸洋汽船株)、杉山・米倉 (イノカストランスポート株)、丹野・柘井 (国華産業株)、 亀ヶ川 (昭和日タンマリタイム株)、新井・馬場 (シヨクユタンカー株)、新江・萬屋 (株デュカム)、小野田 (株六甲船舶)、目次 (内タン本部)
学校側面談者	村上先生、佐藤先生、佐々木先生ほか
実施事項	(1) 先生懇談 (2) 生徒全体説明・懇談 (2年生)

懇談・意見交換概要

(先生、船社参加者で懇談)

- ・令和3年 本科1名、専攻科9名船社就職
- ・令和3年 本科4名、専攻科7名船社就職
- ・本科海洋漁業科40名定員で、漁業コース、海洋コース区分
ここ2年間は定員割れ
- ・専攻科定員は10名
- ・タンカー会社への就職は、毎年1~2名
- ・女子生徒の就職(乗船)窓口を広げて欲しい
- ・フェリー希望の学生が多く、タンカーの良いところを
アピールして欲しい
- ・辞めてしまう学生の理由は人間関係が多い



(学生との懇談)

- ・漁業科2年生
- ・内航タンカーDVD視聴後に、各社より自社の紹介

(学生からの質問)

- ・乗船中と休みの時の給料の違いはどのくらいか?
- ・長期乗船中のワッチの頻度を教えて欲しい?
- ・初任給の具体的な金額は?
- ・船員に異性との出会いはあるか?
- ・乗船中、又は乗下船中に観光やレジャーを楽しむ時間はあるか?



(学生への質問)

- ・専攻科に進みたい学生は? 現時点4名挙手
- ・船員になって具体的にやりたいことは? お金を稼ぎたい等

(以上)

学校訪問 報告書

訪問学校名	茨城県立海洋高等学校（WEB懇談会）
訪問年月日	令和5年2月22日 11:40～12:50
内タン参加者 6社、9名	藤澤・藤澤（幸洋汽船株）、米倉（イノカストランスポート株）、高松（鶴見サンマリン株）、泉（昭和日タンマリティム株）、小野田（六甲船舶株）、川上・坂谷（宇和海汽船株）、目次（内タン本部）
学校側面談者	奥原先生
実施事項	(1) 学生全体説明・懇談（本科2年生）

懇談・意見交換概要

(学生との懇談)

- ・海洋技術科2年生 13名
- ・内航タンカーDVD視聴後に、各社より自社の紹介

(学生からの質問)

- ・給料はどのくらいか？
- ・採用に当たって海技免状は、どこまで要求するか？3級は必要か？
- ・タンカーの航海は定期か、不定期航路か？
- ・船員室は個室が与えられるか？
- ・賄いの方は全ての船に乗っているか？
- ・手取りでどれくらいもらえるか？
- ・会社ではどのような生徒を採用したいか？

(学生への質問)

- ・給与と休暇、どちらを重要視するか？ 給料3名、休暇9名、ほか1名
- ・現時点でタンカーへの就職に興味がある方は？ 3名挙手



(先生との質疑)

- ・茨城校の卒業生の採用実績はあるか？ 本日会社では1社のみ
- ・本校の特徴は、甲機両用5級の筆記免除をおこなっている
- ・今後、デッキ志望、エンジン志望、どのような船に乗りたいか進路を絞っていく

(以上)

学校訪問 報告書

訪問学校名	神奈川県立海洋科学高等学校（訪問） 1回目
訪問年月日	令和4年5月16日 14:40～15:40
内タン参加者 3社、5名	藤澤（幸洋汽船(株)）、枘井（国華産業(株)）、辰巳・野間（(株)六青和 SHIPPING）、 目次（内タン事務局）
学校側面談者	澤村進路指導教諭
実施事項	(1) 先生との情報交換、(2) 生徒説明（本科 2,3 年生、専攻科生）
懇談・意見交換概要	
<p>(先生との懇談)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本日は学校全体の進路ガイダンスの一環で実施 ・ 進路実績は、昨年はセメント船が人気で、タンカーへの就職が少なかった ・ 普通科3年生1名は、船への就職を希望 ・ 海技短大や専攻科を目指す生徒も多いが、全員が希望通りにはいかない <p>(生徒との懇談)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 参加生徒は、海洋学科2年生10名（3年生は実習で欠席）、普通科3年生1名、専攻科2年生2名 ・ 内航タンカーDVD上映後、各社企業紹介の後、質疑応答 <p>(生徒からの質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 船内での身だしなみ、髪型、ひげ等は規制があるか？ （学校の実習時は、水の節約、最初の一週間の船酔い等で短髪を指導） ・ 3ヶ月の乗船中、自由な時間はあるか？ （3ヶ月の航海中、全く陸に上がれないと勘違いしている生徒もいるので、詳しく説明して欲しいと、先生からリクエストあり） ・ 危険物の資格は在学中に取っておいた方が良いか？ （入社後、士官に上がる際必要なので、在学中は不要なこと。また、陸の消防法の危険物資格とは異なる資格であることを補足） ・ 3級資格を取る際、専攻科、短大、大学等のルートがあるが、学校区分によって給料の違いはあるか？ （各社毎の方針によるが、大きな開きはなく、就職後の努力や上級職への登用で差は出てくる） ・ 各社STCW訓練への対応は？ （発効要件のスケジュールに沿った対応を考えているが、2年後の沿海船がスタートする際は、混乱が起きないか若干懸念がある。） （学校施設内では、消火訓練が出来ないことは、ネックとなる） <p>※ 最後に令和4年度も内航タンカーへの就職活動への協力をお願いして懇談会を終了</p>	
(以上)	

学校訪問 報告書

訪問学校名	神奈川県立海洋科学高等学校（訪問） 2回目
訪問年月日	令和4年12月21日 13:30～15:20
内タン参加者 5社、7名	武川（旭タンカー㈱）、栢井（国華産業㈱）、辰巳（㈱六青和 SHIPPING）、山本（コーウンマリン㈱）、新町・山本（浪速タンカー㈱）、目次（内タン本部）
学校側面談者	澤村進路指導教諭
実施事項	(1) 先生との情報交換 (2) 生徒説明 (1,2年生)

懇談・意見交換概要

(先生との懇談) 進路・生徒指導について

- ・本科3年生、専攻科2年生は全員内定
- ・航海系生徒は100%が海上、機関係は一部陸上メーカーに行くが大半は海上
- ・タンカーへのインターンシップが難しいのは理解しているので、仮バース時に船内見学を希望する
- ・当校の特色として卒業生が度々来校し、就職相談に来る。貨物船を離職後、タンカー会社に再就職した例が数件ある。
- ・今年の1年生から初めて、食品コースの中に船舶料理士を目指すコースを新設し、女子1名が在籍、軌道に乗せて行きたいと思っている。
- ・本日の参加生徒は、将来海上職を目指しており、専攻科、海技短大、大学に進学し、上級免状を取得した上で就職したい生徒である。



(生徒との懇談)

- ・本科1年生3名（うち1名は料理士コース女子）、本科2年生7名、（E5名、D4名、食1名）
- ・内航タンカーDVD視聴後に、各社より自社の紹介

(生徒からの質問)


- ・内航船と外航船を運航する会社は、船員の相互乗船はあるのか？
- ・内航船の船長の年収はどのくらいか？
- ・採用に当たって、各社は何級免状を要求するか？
- ・海技免状以外に資格は必要か？
- ・各社の取り組みで特徴的なことはあるか？

(参加船社から生徒への質問)

- ・3ヶ月乗船は長いと思うか？ … 4名が挙手
- ・給料と休暇、どちらを重視するか？ 給料8名、休暇2名

(以上)

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	愛知県立三谷水産高等学校
訪問年月日	令和 4年10月31日
訪 問 者 6社、8名	(東海支部) 松浦 (幸福船舶株) 仲野 (東海タンカー株) 高橋 (事務局長) (関西支部) 磯合 (三興海運株) 木村 (木村海運株) 夏本 (㈱オリエントシ ップ) 村田 (白石海運株) 上村 (事務局長)
学校側面談 者	湯藤校長 沓澤先生 大須賀先生
実施事項	○(1)生徒全体説明 ○(2)学校側懇談
懇談・意見交換概要 (別紙添付も可)	
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒への出前授業 (13:30~14:55) を実施 ・先生との懇談内容 (15:00~15:30) を実施 <p>◎生徒への出前授業</p> <p>参加者生徒 2年生 19名 (海洋工学コース (機関) 19名)</p> <p>13:30 より 出前授業</p> <p>13:30 DVD 活用にてタンカー船員の仕事・ 休暇体制・仕事内容・労働環境などについて磯合氏より説明。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>13:50 3グループに分かれ、20分ずつのグループトークを実施</p> <p>1グループ 磯合氏・仲野氏</p> <p>2グループ 夏本氏・松浦氏</p> <p>3グループ 木村氏・田村氏</p> <p>グループトークで生徒から出された質問と説明 (抜粋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・船の揺れはどうか? なれますか?・航行中、急病となった場合はどうなりますか? ・荷役時間はどれくらい?長いのですか? 機関部も手伝うのですか?・船が休船の場合、休めますか? ・船に持ち込む荷物制限されますか? (ゲーム機等) ・スマホ、携帯等電波の状況は? (Wi-Fi 等の状況含む) ・給料の手取り額は? ・どのような海技免状が必要ですか? ・休暇下船時には旅費の全額支給 ・毎日家に帰りたければ、平水船に就職すれば、(例 4日乗船2日休暇・朝は早い、日帰りの船もある。) 	

- ・普通高校より就職の選択肢が多い同校に在学しているので、取得でき得る資格は貪欲に取得してほしい。
- ・本校は5級の海事免状（筆記免除）資格だが、努力をして4級まで取得できるよう先生にお願いして卒業をしてほしい。
- ・本校に入学したことによる価値観や免状等を取得できる環境を生徒たちが把握できていない事が少し残念。
- ・船舶関係に就職するにあたり大変有効な資格が多いことを説明し生徒達も理解を示したので、頑張ってくれることと思う。



◎先生との情報交換

15：00～15：30

沓澤先生と大須賀先生との意見交換会 実施。

松浦支部長挨拶の後、情報交換

3年生の進路状況 半数 就職希望 フェリー2名 海技教育機構 1名

進学 清水へ 4名（推薦1名とA0 3名）

そのほか未定。

2年生（19名） 7～8名 就職 12～13名進学 希望

専攻科 航海科 4名 3名内航船

機関課 4名 3名内航内定 タグ2名 フェリー1名

以上の説明がなされた。

- ・懇談終了時に再度確認をするとほとんどの生徒が、船員を目指すと言ってくれたので、少しホッとしました。

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	三重県立水産高等学校
訪問年月日	令和 5年 1月11日
訪 問 者 6社、8名	(東海支部) 松浦 (幸福船舶株) 仲野 (東海タンカー株) 高橋 (事務局長) (関西支部) 北 (田渕海運株) 木村 (木村海運株) 夏本 (㈱オリエントシップ) 上田 (株 辰巳商会) 上村 (関西支部事務局)
学校側面談者	大川教頭 谷内先生 内山先生 植田先生 田邊先生
実施事項	○(1)生徒全体説明 ○(2)学校側懇談

懇談・意見交換概要 (別紙添付も可)

- ・生徒への出前授業 (13:30~14:55) を実施
- ・先生との懇談内容 (15:00~15:30) を実施

◎生徒への出前授業

参加者生徒 2年生 19名 (海洋工学コース
(機関) 19名)

13:30 より 出前授業

13:30 DVD 活用にてタンカー船員の仕事・



休暇体制・仕事内容・労働環境などについて磯合氏より説明。

13:50 3グループに分かれ、20分ずつのグループトークングを実施

1グループ 磯合氏・仲野氏

2グループ 夏本氏・松浦氏

3グループ 木村氏・田村氏

グループトークングで生徒から出された質問と説明 (抜粋)

- ・船の揺れはどうか? なれますか?・航行中、急病となった場合はどうなりますか?
- ・荷役時間はどれくらい?長いのですか? 機関部も手伝うのですか?・船が休船の場合、休めますか?
- ・船に持ち込む荷物制限されますか? (ゲーム機等)
- ・スマホ、携帯等電波の状況は? (Wi-Fi等の状況含む)
- ・給料の手取り額は?・どのような海技免状が必要ですか?
- ・休暇下船時には旅費の全額支給
- ・毎日家に帰りたければ、平水船に就職すれば、(例 4日乗船2日休暇・朝は早い、日帰りの船もある。)
普通高校より就職の選択肢が多い同校に在学しているので、取得でき得る資格は食欲に取得してほしい。

- ・本校は5級の海事免状（筆記免除）資格だが、努力をして4級まで取得できるように先生にお願いして卒業をしてほしい。
- ・本校に入学したことによる価値観や免状等を取得できる環境を生徒たちが把握できていない事が少し残念。
- ・船舶関係に就職するにあたり大変有効な資格が多いことを説明し生徒達も理解を示したので、頑張ってくれることと思う。



◎先生との情報交換

15：00～15：30

沓澤先生と大須賀先生との意見交換会 実施。

松浦支部長挨拶の後、情報交換

3年生の進路状況 半数 就職希望 フェリー2名 海技教育機構 1名
 進学 清水へ 4名（推薦1名とA0 3名）
 そのほか未定。

2年生（19名） 7～8名 就職 12～13名進学 希望

専攻科 航海科 4名 3名内航船
 機関課 4名 3名内航内定 タグ2名 フェリー1名

以上の説明がなされた。

- ・懇談終了時に再度確認をするとほとんどの生徒が、船員を目指すと言ってくれたので、少しホッとしました。

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	福井県立 若狭高等学校
訪問年月日	令和 4年11月10日
訪 問 者 7社、8名	夏本（有）オリエントシップ）横田（横田海運有）小野田（株六甲船舶）枅井（国華産業株） 武川（旭タンカー株）野間（株エスワイプロモーション）佐藤（アズーロジャパン株） 上村（関西支部 事務局）
学校側面談者	毛利先生
実施事項	○(1)生徒全体説明 ○(2)学校側懇談

懇談・意見交換概要（別紙添付も可）

- ・先生との懇談内容（13：30～14：00）を実施
- ・生徒への出前授業（14：20～15：00）を実施

◎先生との情報交換

13：30～14：00

全般的に海技免状養成校ではないので、小型船舶1級を取得
しかし、船員への興味を示す生徒がおり、進学をして船員の道を探している。又、本校で取得できる小型船舶操縦士の資格での、就職も可能な組合員の会社もあるので、2年生生徒等幅広く出前授業をできるように要望した。



◎生徒への出前授業

14：10～15：00

参加者生徒（希望者）3年生 1名 2年生 3名

DVDについては、前回訪問時に寄贈したものを、先生が授業の中で、見せておられるとのことから、生徒と対面での懇談を実施。

- ・漁船（マグロはえ縄）に内定をいただいているが、商船の魅力を教えてほしい。（3年生）
- ・乗組員数（司厨部員乗船等）や仕事量（大型船は、職位により完全役割分担制、小型船は、1人の仕事量が多い）について説明。
内定をいただいた漁船で働いてみて自分にその仕事が、向いているか判断する事。
- ・漁船には、外国人も乗船しているケースがあるので英語力やその対応も 勉強になる。
- ・船のWIFI環境はどうなっているのか？
- ・船種による給料の違いを説明 油タンカー・ケミカルタンカー等の手当関係を説明。
- ・乗船サイクルについて説明。 3ヶ月乗船で、1ヶ月休暇 休暇期間中も、給料は支払われる。
会社によっては、2カ月乗船で、20日休暇や、配給船など日帰りもある。
- ・小型船舶操縦士資格のみでも、就職でき得る会社がある事についても説明。
- ・内航船舶への乗船希望者には、4級海技士の取得を目指すように伝え、免状により職務も変わり給与にも影響するので、上級資格を目指すように説明。



以上の内容について質問及び説明を行った。

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	京都府立 京都海洋高等学校
訪問年月日	令和 4年11月11日
訪 問 者 9社、10名	夏本（㈲オリエントシップ）横田（横田海運㈲）黒井（イイノガストランスポート㈱）岩永（浜崎海運㈱）武川（旭タンカー㈱）野間（㈱エスワイプロモーション）柘井（国華産業㈱）小野田（㈱六甲船舶）佐藤（㈱アズーロジャパン）上村（関西支部 事務局）
学校側面談者	伊藤先生
実施事項	○(1)生徒全体説明○(2)学校側懇談 (3)個別就職相談○

懇談・意見交換概要（別紙添付も可）

- ・生徒への出前授業（10：40～12：30）を実施
- ・先生との懇談内容（12：35～13：10）を実施

◎生徒への出前授業

10：40～12：30

参加者生徒 2年生 14名（1名欠席）

DVD活用にてタンカー船員の仕事・休暇体制・仕事内容・労働環境などについて説明。



その後、3グループに分かれて、詳細に説明及び質問について

◎質問・説明ポイント

- ・休暇のサイクルは、3ヶ月乗船になるのか？

3ヶ月乗船で1か月休暇が一般的だけれど、2ヶ月乗船で20日休暇の会社もある。

- ・産休や育休を取得できるか？

会社によって取得できる会社もある。 就職時に確認すると良い。

- ・船長になることは、出来ますか？

大手では、15年かかるケースもあるが、比較的小型船では、高齢化が進んでいるので、やる気次第では、スムーズにできることもあるでしょう。

- ・3等航海士での雇い入れがある船のサイズは？

比較的人数の乗っている大型船であれば3等航海士が乗船しています。

小型船でも会社によっては、対応してくれるところもあるでしょう。

- ・漁船（マグロ船）からタンカー船に乗った方が有利ですか？

ケースバイケースだけれども、直接の方がいいのかもしれない。

- ・内航タンカー船の強みとは何ですか？

安全意識の高さ、それに対する教育、給与の多さでしょうか。

- ・外国人船員と乗船する場合、何が必要ですか？

現在はカボタージュ制度があるので、内航船には、混乗することはないですが、語学力は在った方がいいかもしれないですね。

- ・面接時に学力（成績）はあまり関係ないと説明をされた会社も在りますが、どうですか？

学力を見る会社もありますが、学力重視ではなく。その人のやる気や、性格を重視する会社も在ります。

・生徒の兄が、マグロはえ縄漁船に就職 同僚が違う船で、仕事し、
収穫により給与に大きな差が出たので、すぐに退職したとの話があり、
将来を見据えて商船（貨物船・タンカー船）の方が安定した給与体制で
ある旨説明。

・船内で早くなじめるようになるにはどうすればよいのか？

いつも元気よく挨拶をして、先輩にわからないことは自ら質問をして
素直に聞く事が一番ではないかなと回答

司厨員は乗船していますか？比較的大きな船には乗船しているが小型船は
当番制でご飯を炊き、おかずは自分で調理する事が多い。

◎先生との情報交換

12：35～13：10

2年生(15名)の内

進学希望・・・ 4名 海技短大2名 其他2名

就職希望・・・10名 漁船1名 内航船7名(内タンカー2名)

海上保安庁1名 水上警察1名(女子)

未定・・・1名

海上就職希望者が、多くなっている傾向

本校にいる間に取得可能な資格は貪欲に取得することを進める。

先生からは、最近の学校を取り巻く環境、本校への進学状況について
説明があった。

進学にあたっては、最低4級海技士(筆記)を取らないと推薦しないよう
に生徒に説明し頑張らせるようにしているとの事、そのことにより3級取
得者も出ているとのことであった。

会社の面接においても、上級資格及び数々の資格を取得出来ている生徒の
方が有利である旨伝える。

以上の内容について質問及び説明を行った。

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	鳥取県立境港総合技術高等学校
訪問年月日	令和 4 年 1 2 月 2 2 日
訪 問 者 4 社、5 名	木村（木村海運㈱） 齋藤（大光船舶㈱） 西田（白石海運㈱） 本多（榎六青和 SHIPPING） 上村（関西支部 事務局）
学校側面談者	檜山先生
実施事項	○(1)生徒全体説明○(2)学校側懇談 (3)個別就職相談○

懇談・意見交換概要（別紙添付も可）

- ・生徒への出前授業（13：00～14：20）を実施
- ・先生との懇談内容（14：25～15：00）を実施

◎生徒への出前授業

13：00～14：20

参加者生徒 2年生 7名（希望者）（デッキ5 機関2）

DVD 活用にてタンカー船員の仕事・休暇体制・仕事内容・労働環境等について説明。

聴講希望者で、全員船員希望 乗船したい船舶を確認

漁船 1 コンテナ 2 タンカー 1 未定 3

その後、2グループに分かれて、詳細に説明及び質問について

1班 4名

2班 3名

◎グループトーク内容

何が知りたいかを問い対話中心のグループトークを実施。

◎1グループ（4名）

- ・ケミカルタンカーについて説明

他の船種より仕事量が多く、給与（手当）が高い。

毎航海タンククリーニング作業がある。

- ・年収について（生涯賃金）

- ・タンカーは外の船種より給与が若干高くそのなかでも、ケミカルが高い旨説明。

- ・大型船、小型船の乗組員数（定員）

- ・海技免状の取得について 船員として働く中で必ず必要だし、就職に有利 就職後の資格等についても各社サポートしてくれる。

- ・短大への進学推奨

- ・就職活動には、自分で情報収集をしてほしいし、悔いのない就職活動をしてほしい旨伝えた。

- ・漁船希望者及びコンテナ船希望者が、タンカーに興味を示してくれた。

◎2グループ（3名）

- ・乗船期間が長い（3ヶ月）がネックで、家に帰りたい。

基本は2カ月だが、2カ月20日休暇、もっと短いスパンの乗船できる会社も最近増えてきている。

又、配給船のようにほぼ毎日帰れる船もあるがその基地の近くに居住を置く必要がある。それらは、それぞれの考えで選択をしてほしい。



- ・稼ぎたいし、いい車に乗りたい。

陸上の仕事より、給料が高い事、乗船中はほぼ自分のお金を使うことは少なく、お金をためやすい環境である旨、説明。実際船員さんは、良い車（希望車種）を若いうちから、取得している。

旅行が趣味の人は、休暇中海外旅行に頻繁に行っている人もいる。

本校は、小型船舶のみの資格取得であるので、先生にお願いをして補修で出来れば、4級筆記免除まで、頑張っていたきたい旨、説明。

卒業後、短大に進学の道も視野に入れて、あらゆる角度から検討願いたい旨、説明

※全体的な感想

海技免状取得できないカリキュラムだが、先生方に補習をお願いしてできれば4級まで頑張って取得するようにと話をし、全員が頑張ると約束してくれたので、良かったと思われる。

希望者ということもあり、積極的に質問をしてくれたし、大変良かった。

※本日の参加者は、2年生の説明視聴希望者7名で、

当初 漁船2名 コンテナ2名 タンカー1名 進学1名 未定1名であったのが、説明及びグループトーク終了後、 タンカー希望者5名 進学1名（短大卒業後タンカー希望） 漁船1名と大きく変化した。

地道に訪問し、生徒と話す事が大事である旨、感じた。

◎先生との情報交換

14:30～15:00

- ・低学力の生徒が多いが、元気があり活発な生徒も多数いる。
- ・地元の生徒が多い（寮がないため）
- ・求人票（内航関係）30社ほどあるとの事。
- ・乗船履歴は2カ月となる。
- ・練習船の教員がいないので、なかなか指導に困っている状態。
- ・特定事業者による説明会を希望者のみとなっていたが、校内で希望者のみならず一般生徒にも聴講できるように働きかけているとの事。
- ・就職先は 官公庁（取締船）やフェリー会社が多い。
- ・卒業時には、1級小型船舶操縦士・2級海上特殊無線技士が取得だが、内航海運関係から、内定をいただく4級の航海・機関の筆記合格している。
- ・指定校の海技短大へは、3名指定推薦で、進学が決定した。
- ・私立高校への授業料減額処置がとられてからは、私立高校進学者が増え、本校2年生が入学時定員30名に対し、13名 1年生は、30名に対し20名と定員割れが出ている状況である。

乗船履歴について

- ・航海科は、16単位あるので、5級の履歴短縮をもらえる。
- ・機関科は、12単位であるので、6級の履歴短縮がもらえる。との説明がなされた。
業界の要望としては、4級の筆記免除まで、頑張って取得させていただきたい旨説明をした。（生徒も頑張ると意思表示していたことを説明）
又、意欲のある生徒・遅刻をしない・挨拶ができる（基本の生活）が大事であるので、そのような生徒（第一印象が重要）がこちらに（内航海運）に向かってほしい旨 要望。

以上の内容について質問及び説明を行った。

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	島根県立浜田水産高等学校
訪問年月日	令和 4年12月14日
訪 問 者 5社、6名	川橋（甲子汽船㈾）木村（木村海運㈾）斎藤（大光船舶㈾）本多（㈾六青和 SHIPPING） 柘井（国華産業㈾）上村（関西支部 事務局）
学校側面談者	山本先生
実施事項	○(1)生徒全体説明○(2)学校側懇談 (3)個別就職相談○

懇談・意見交換概要（別紙添付も可）

- ・生徒への出前授業（11：00～12：10）を実施
- ・先生との懇談内容（12：15～13：00）を実施

◎生徒への出前授業

11：00～12：10

参加者生徒 2年生 23名（航海 12名 機関 11名）専攻科6名
DVD活用にてタンカー船員の仕事・休暇体制・仕事内容・労働環境などについて説明。



その後、4グループに分かれて、詳細に説明及び質問について

◎説明ポイント

- ・タンカーの重要性
- ・乗組員数（司厨部員乗船等）
- ・仕事内容



※質問内容

Q 給料はどのくらいあるのですか？

大まかな数字を話し、船種によって若干差がある旨、伝えた。

Q 司厨員が乗船していない船は、自炊ですか？食事の材料は支給されるの？

大型船は、ほぼ乗船している。 小型船は、乗船していない確率が高い。 乗船していない船は、完全自炊・主食（ごはん炊き）当番制・完全当番制 等、それぞれの船で、対応している。 材料などは、大型船は司厨員が買い出しに行く。小型船は、当番で買い出しに行くことになる。

Q 船員になってよかったことは？

社会に出ると必ずといっていいほど就職をするのだから、仕事をするのであれば給料のいい方がいいのでは、本校を卒業すると5級（筆記免除）海技士の資格があるので、それを生かした仕事を選択（船員）する方がいいのではないかと？

Q 女性でも、乗れる船はありますか？

女性を採用してくれる会社は、数多くではないものの在ります。会社説明会や各社のホームページ等参考に、十分調べて頑張ってください。

Q 3ヶ月の乗船中、上陸しての休みはありますか？

3カ月の間、すべて仕事があるわけではないので、荷物を積んでいない時は、バースに着棧して完全休養日も当然あります。

※その他数々の質問が出された。

Q乗船期間を延ばし、休暇を長くすることはできますか？

Q乗船中不幸ごとが起きた場合の対応はどうなりますか？

Q各職務の給与の差はどのくらいありますか？

Q船員室は完全個室ですか？

Q取得しておいた方がいい資格は何ですか？

Q見習い期間はどれくらいですか？

Q通信環境（WIFI）はどのようになっていますか？

以上のような質問があった。

※全体的な感想

- ・明るくて、屈託のない生徒が多い印象だが質問が少し少ない感じがした。
- ・たわいもない話や質問で、生徒たちの考え方が見えたような気がする。
- ・今回の説明会（説明の前と後で、）で、タンカー船に興味を示してくれた生徒が、増えたことは、よかったと思われる。
- ・グループトークキングの時間（20分×3グループ）がもう少しあれば、もっと打ち解けて具体的な質問が出たのではと思う。
- ・本校に入学の目的がはっきりしていない生徒が多いので、取得できる資格の種類・重要性を把握していない生徒が多く、残念。
- ・情報を卒業した先輩から取得する事が多いようである。学校訪問の機会をもっと増やして、商船の情報を生徒達に伝える必要性を感じた。

◎先生との情報交換

12：15～13：00

先生からは、最近の学校を取り巻く環境、進学状況について説明があった。

県内の中学からだけでは定員割れをするので、県外の入学者が比較的多い。

島根県の学校情報会を東京で開催したら、保護者同伴で来校し、納得して、受験する生徒が増えてきた。

本校は専攻科があるので、本科卒業時に専攻科志望者が多い。

専攻科に行けない生徒は、JMETT受験しないで、就職する生徒が多い。

本校には、林業関係の会社の求人が多いので、その会社に就職をするが、数年後、船員に転職する卒業生も実際にいるとのこと。

生徒自身が、自分の性格を十分把握し、10年後の人生を考えて、今（本校在学中）に何をするべきかを考えるように指導しているとの事。

以上の内容について質問及び情報交換を行った。

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	島根県立隠岐水産高等学校
訪問年月日	令和 4年12月 8日
訪 問 者 3社、4名	北（日新船舶株）横田（横田海運有）松本（大四マリン株）上村（関西支部事務局）
学校側面談者	大谷先生・安原先生・福田先生
実施事項	○(1)生徒全体説明○(2)学校側懇談 (3)個別就職相談○

懇談・意見交換概要（別紙添付も可）

- ・12月8日 隠岐水産 大谷先生・安原先生を交え、同校の現状などについて 情報交換会を開催
12月9日 10:00
- ・生徒への出前授業（10:00～12:40）を実施
- ・先生方との懇談（12:40～13:20）を実施



◎生徒より、質問事項

Q タンカー船の499型メリットは？

A 大型船は、部屋が多いので部員としての教育乗船が可能。

小型船は、乗組員の数が少ないので、即戦力を求める傾向があるやる気のある生徒はとてもチャンスかもしれない。

Q 女性でも採用してくれる関西の会社はありますか？

A 少数ではあるが、採用している会社はあります。

Q 女子学生より、女性船員の採用の可否及び船内設備（バス・トイレ・居住区）が女性船員の受け入れに關し整備されているのか？

A 応募があれば男女の区別なく採用を検討する。また現在積極的に採用をされている船社は、整備されている。

Q 専攻科に進学した方がいいのでしょうか？

A 可能であれば進学をして上級（3級等）免状を取得して上船した方が、大きい船舶では、いいかもしれないが、本科卒業後直ぐ就職しても本人のやる気次第変わると思います。

Q 給与・休暇等待遇面の質問があり

A 給与は各社違うので、その会社の求人票を参考にまた、休暇はビデオでもあったが3ヶ月の1カ月が基本で、2月の20日等各社対応が違う。

◎参加各社の企業説明

11：50～12：40

グループトークの後、各社 自社のPRを全体の生徒に対し実施。

参加各社

- ・田渕海運(株) (日新船舶(株))
- ・大四マリン(株)
- ・横田海運(有)



全般的に

- ・内航タンカー業界の事が、あまり知られていないことが分かった。
- ・今回のように、学校訪問を行って、内航タンカーの魅力を伝えれば内航タンカーへの志望者が増えるような感触を得たので、学生が、十分な情報を得られる機会（学校訪問）を増やし、興味を示してもらえるようにした方がよいと感じた。

最後に北委員長挨拶の後、閉会した。

◎先生との懇談 12：40～13：20

- ・教員になる方がすくないので、卒業生に教員になる生徒を探している状況
 - ・同じ会社でも乗る船によって教え方等違うところもあり、同じ会社に入った同学年の生徒から、相談がある。
 - ・学校から、卒業時に最低1年、頑張って3年間は、初めの会社で頑張るように指導している。
 - ・資格を1つでも取り出すと頑張ると勢いがついて多くの資格を取得している。
 - ・クラブに参加している生徒は、積極的になり、頑張る生徒が多い。
- 等の情報交換を実施。

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	香川県立多度津高等学校
訪問年月日	令和 4年12月20日
訪 問 者 7社、8名	磯合（三興海運）川橋（甲子汽船㈱）辻村（国華産業）安部（浜野海運㈱） 佐藤（㈱アズーロジャパン）本多（㈱六青和 SHIPPING）重信（日本ガスライン㈱） 上村（関西支部 事務局）
学校側面談者	中西先生 佐野先生 新田先生 鳴海先生
実施事項	○(1)生徒全体説明○(2)学校側懇談 (3)個別就職相談○

懇談・意見交換概要（別紙添付も可）

- ・生徒への出前授業（10：30～11：55）を実施
- ・先生との懇談内容（12：00～12：50）を実施

◎生徒への出前授業

10：30～11：55

参加者生徒 専攻科1年生 7名（海洋科 6名 機関科 1名）

DVDについては、本科2年生の時に視聴したとのことであったので、タンカー船員の仕事・休暇体制・仕事内容・労働環境等について概略を説明。

その後、グループ（個別）に分かれて、詳細な説明並びに質問に答える形式の出前授業となった。

先生より、当日の参加者 生徒 企業ともに7名なので、ブースを7つ用意願ひ、1対1で話をする事となった。

基本的に商船（特にタンカー）船員にと進める内容とそれぞれの生徒が今現在どう考えているかを確認して、各社アドバイスをしていた。

※質問内容

- Q給与の手取り額は、またフェリーやタグボートとの差はどの程度あるのか？
- Q乗船期間中買い物などは行けるのですか？
- Q乗組員の働き方改革の取り組みはどのようなものですか？
- Q複数の船種を持っている会社に採用されれば、希望の船種に乗れるのですか？
- Qタンククリーニングはどのように行うのですか？
- Q船体の整備はどのくらいの頻度で行うのですか？
- Q小型船で機関部員が行う荷役作業の内容は？
- Q航海当直中の作業内容は？
- QWIFIはありますか？
- Q見習い期間はどれくらいですか、また期間中は補佐が付きますか？
- Q食事の支度は賄さん？それとも自分で？
- Q乗船する際の個人の荷物に制限はありますか？（ゲーム機等）
- Q乗組員の年齢構成はどんな感じですか？
- Q休暇のサイクルはどうなってますか？

数々の質問に対して、各社での対応を生徒に説明していただいた。



グループトークングの際の学生の希望船種は、

(最初)

タグボート3名 フェリー 1名 タンカー若しくはタグボート 1名 タンカー 1名
未定 1名

グループトークング終了後には、タンカー希望者が 4名に増加。

その他は、タグボートとフェリー希望



※全体的な感想

今回の生徒は、すべて専攻科生であり、船員になりたいと希望し進学しているため、就職の意識は、あったように思われる。

夫々の船種の仕事内容等を十分に把握していないようである。

タンカーの仕事内容をもっと生徒に理解してもらい、生徒の意識を内航タンカーに向かせるために、継続した訪問が必要と感じた。

◎先生との情報交換

12:00～12:50

中西先生・佐野先生

多度津水産高校が、15年前に多度津工業高校と統合となり、水産系の学科は海洋技術科として残っている。

毎年30名ほどが海洋技術科に入学し、そこから専攻科へは、7～10名程度進学をしている。

統合当初は、丸亀や多度津の地元企業（造船・鉄工・機械・漁業）への就職がほとんどであったが、ここ数年専攻科の生徒は内航船へ就職している。希望の船種は生徒が実際に見学や学校訪問に来ていただいた際の情報で得たものに左右されることが多い。

ここ最近ではコロナ事情で、その機会が減っている。

タグボート希望者が多いのはなぜかと質問に対し、実際に就職した卒業生からの情報が影響していると思われるとのことであった。

以上の内容について質問及び説明を行った。

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	愛媛県立宇和島水産高等学校（WEB懇談会）
訪問日	令和5年1月17日
内タン参加者 (11社15名)	内タン四国支部長 越智（東汽船株）、千守（興栄海運株）、竹本（日本ガスライン株）、川上、坂谷（宇和海汽船株）、安部（浜野海運株）、佐藤（イイノガストランスポート株）、浜崎（浜崎海運株）、栢井、丹野（国華産業株）、荒井、馬場（シヨクユタンカー株）、小野田（株六甲船舶）、亀ヶ川、いずみ（昭和日タンマリタイム株）、目次（内タン本部）、松原、谷口（内タン四国支部）
学校側面談者	遠矢先生ほか 海洋技術科教員5名 計6名
実施事項	第三部 学生全体への説明会 14:50～15:40 第四部 先生との懇談会 16:00～16:30

「令和4年度 内航タンカー組合によるWEB学校訪問・懇談会」について

1 概要

(1) スケジュール

第一部 14:50～15:40 生徒との懇談会

- ・DVD視聴（約10分）
- ・参加事業者の自己紹介（約10分）
- ・質疑応答（生徒からの質問に対して企業側から回答）

第二部 16:00～16:30 海洋技術科教員との情報交換会

- ・相互資料説明
- ・情報交換会（主に学校側から質問し、その回答）

(2) 参加者

第一部 海洋技術科2年生 6名

専攻科漁業科機関科1年生 9名

※ 専攻科漁業科2年生3名が視聴したいとのことで後方に同席した。

第二部 海洋技術科教員 6名

2 宇和島水産高校からの質問内容

(1) 第一部（生徒から）

- DVDの中で、東日本大震災の被災支援のことがあったが、災害に対してどのような準備を行っているか。
- 本科卒だと海技士資格がないまま就職することになるが、資格がなくても大丈夫か。
- 組合船と非組合船との違いはどういう所か。
- 水産高校卒業者はどのくらいいるのか。
- 荷役時間は、どのくらいかかるのか。
- タンカーは細かいルールがあって厳しいと聞くが、実際はどうか。
- タンカーはフェリーなどより給料が良いというが、本当か。

(2) 第二部 (◎は学校側から。●は企業側の回答)

- ◎ 船員教育を行う上で、どのようなことを身に付けさせたら良いか。
- 面接ではしっかりできていたのに、入社すると基本的な挨拶もできなくなる人がいる。基本的な挨拶、大人の中に入っていき姿勢など身に付けてもらいたい。
- 仕事のことは就職してから身に付けてもらう。仕事は皆で行うことが多いので、仕事が終わってもすぐに一人にならず、コミュニケーションを積極的に取る姿勢が欲しい。
- 人間性をしっかり育てて欲しい。

- ◎ せっかく入社してもすぐに辞めてしまう例 (本科生に多い) が見られるが、どのような子 (どのような理由) で辞めているか。
- 本科卒の子が一週間で「無理だから降ろさせてくれ」と言ってきた。社会人になるという自覚ができていなかった。
- 嫌なことからすぐに逃げる子が多くなっている。お金を稼ぐ、という動機がしっかりしている子は長続きしている。
- タンカーの魅力は何か。
- 人間関係で辞めている。(複数あり)
- 今はパワハラやいじめなど、あつてはならないので厳しく指導している。若い子の定着も良い。
- コミュニケーション不足。団体の中に入ろうとしないようなケースがある。
- 一週間で辞めた子はホームシックが原因だった。船の世界を理解できていなかったのか、なぜ船を選んだのか疑問である。
- 確かに長期の乗船に向いていない子がいる。船で働くイメージができていない。
- 働く理由がはっきりしている方は長続きする。お金に欲のある人は続く。
- 海にロマンを求めてきたような人も辞めるケースが多い。夢と現実のギャップなのか?
- 感じるのは打たれ弱い子が多い。船は厳しい面も多々あるので、乗り越えて欲しい。
- 共同生活ができない子がいた。(共同の風呂は嫌だ)
- 厳しい世界だが、ハングリー精神のある子は持っている。

3 その他

- ・第二部では、遠矢先生から学校が抱える課題等についての説明があった。
特に生徒数減少、建造後 20 年経ったえひめ丸による運航については難題となっており、タンカー組合の皆様の御支援や知恵、助言など必要になることがあるかもしれない点について理解を求める。(小中学生に対する船の魅力発信、学校への支援等)
- ・Web による懇談会は、宇和島水高にとっても初めての経験であった。開催まで準備や通信テストも重ね、何とか開催することはできたが、不慣れな点が多く、映像や音声の切替えがスムーズにできない場面があった。Web 会議に慣れていないと難しい。生徒の反応も、いまいちだった。
- ・各社自己紹介があったとはいえ、各社の特徴、貨物による違いなどよく分からないまま質疑応答となつて、戸惑った生徒もいたようである。会社の方よりも実際の船員の話を知りたい、という声もあり、今後工夫していただきたい。
- ・本校生徒の表情など、あまり読み取れなかったのではないかと思われる。
- ・後半のように一つの質問に対して複数の会社から答えていただいた方が、回答の幅が広がってよかった。
- ・WEB 会議に卒業生が居て、活躍されている様子に、とても頼もしく、嬉しく思いました。

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	高知県立海洋高等学校
訪問年月日	令和 4年12月 6日
訪 問 者 3社、4名	北（田渕海運株）横田（横田海運有）松本（大四マリン株）上村（関西支部 事務局）
学校側面談者	本田先生 大崎先生
実施事項	○(1)生徒全体説明○(2)学校側懇談 (3)個別就職相談○

懇談・意見交換概要（別紙添付も可）



◎説明ポイント

- ・各社のタンカーの種類
- ・大きさによる乗組員数（司厨部員乗船等）
- ・給与体系
- ・労働時間について
- ・船員室の内容について

※質問内容

- Q 休日のサイクルは？
- Q タンカーの種類（積み荷）は？
- Q 海技士免状のほかに必要な資格は？
- Q 給与（手取り）はいくらくらいですか？
- Q 海員組合には入っているのですか？
- Q 会社のアピールをしてください？
- Q 運航隻数は？
- Q タンククリーニングはありますか？
- Q どのような航路があるのですか？

※全体的な感想

2年生ということもあり、自分の卒業後の進路を考えている生徒は少ないようである。

本校を卒業時に海事免状が取得できることの内容を把握していないのが残念。

説明会の前より、内航船への就職希望は増えたとし、目の輝きが明らかに変わったので、4月頃再度訪問をさせていただき、3年時の就職決定前にもう一度話をしたい。

生徒と向き合い話ができ、生徒も我々も理解できたので、よかったと思う。

◎先生との情報交換

12 : 45～13 : 15

- ・例年、懇談会で船員について説明を聞いたのちに、興味を示す生徒が多い。
- ・懇談会開催の時期としては、2学期のテスト終了時点が好ましいとのこと。
- ・入学時から船員を目指す生徒は1割程度、講演会などを聞いて興味を示す生徒が多い。
- ・航海コースは3年時に、本科卒業後専攻科に入学可能で本科卒業時に当直部員の認定を受けられる船舶系と、Cカード取得可能なマリン系に分かれる。どちらのコースも一級小型船舶操縦士、第二級海上特殊無線技士は取得予定。
- ・機関コースは3年時に、本科卒業後専攻科に入学可能で本科卒業時に当直部員の認定を受けられる船舶系と、ものづくり等を頑張る機器系に分かる。
どちらのコースも一級小型船舶操縦士、第二級海上特殊無線技士は取得予定。
- ・食品コースは3年時に、調理系と加工系に分かれますが、実習はほとんど同じ内容。
- ・この学年は少し勉強が、というところで、5級養成校だが、6級を取得させている生徒もいるとのこと。
- ・今年の生徒は、漁船に乗りたいたいという生徒が多い。
- ・食品科の生徒も船に乗る可能性を探る手もあるのでとの意見交換。

との説明をもらった。

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	福岡県立水産高校
訪問年月日	令和4年12月8日(木) 14:50~15:40
訪問者 1名	薄墨(西部支部)
学校側面談者	進路指導課 八木教諭
実施事項	内航タンカー業界説明 2年生海洋科41名(航海コース20名、機関コース21名)

懇談・意見交換概要(別紙添付も可)

(生徒との懇談)

◎内航タンカーのDVD及び荷役状況のビデオを視聴

◎パワポ資料を使って内航タンカーについて説明

(質問)

- ◆ケミカルタンカーには、女性でも乗船できるのか。
⇒各社から学校へ提出される求人票を確認して欲しい。
- ◆ケミカル船は、ビデオで見た荷役作業の他に何か作業はあるのか。
⇒タンククリーニングの作業がある。ただ、最近は、自動化されている船もあるので、安心であるが、面接などの際に会社に確認すると良い。
- ◆就職の選択をする際に何を重視するか。
⇒①船種：2名、②給料：20名、③休暇：15名
- ◆休暇のサイクルはどのくらいの期間が良いか
⇒①3ヶ月に1ヶ月・・・18名程度
②2ヶ月に20日・・・18名程度
③1ヶ月に10日・・・4名

(先生への確認)

当日、時間の関係で先生との懇談が持てなかったため、メールにより現状を確認した。

- ◆今年3月の卒業生の就職状況について
⇒タンカー船：6名(甲板2名、機関4名)、
その他海上職：21名、陸上：4名、進学：9名
- ◆現3年生の海上勤務の内定状況について
⇒タンカー船：7名(甲板3名、機関4名)、フェリー4名、セメント4名、その他9名
- ◆最近の入試状況について
⇒定員割れはしていない状況。

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	長崎県立長崎鶴洋高等学校
訪問年月日	令和4年11月7日(月) 13:30~14:30
訪 問 者 1社、2名	辻村(国華産業株) 薄墨(西部支部)
学校側面談者	石川教諭、伊藤教諭
実施事項	先生との懇談

懇談・意見交換概要(別紙添付も可)

(学校の状況・進路)

- ・水産科として定員80名で募集をしているが、毎年定員割れしている状況。1学年50名程度で2学年より希望する専門コースに進む。海技士類型は毎年20名程度が希望している。
- ・今年の3年生の就職先は、航海12名中10名が海運関係、機関5名中2名が進学・3名が海運関係に就職している。海運関係へ進む割合は高い。

(先生との懇談)

- ・タンククリーニングの時間は?(先生)
⇒タンクにマシンがついているので、1時間程度でクリーニングは終了し、後は乾燥だけ。
- ・司厨員を希望する生徒はいるか(会社)
⇒今年はいなかったが、これまで3年連続して希望者がいた。当校は調理師専門学校と提携しており、在学中に「調理師免許」の取得を目指している。
- ・就職活動については(会社)
⇒求人票が届く時期に3年生は乗船実習をしており、実際の就職活動は8月初旬からとなる。求人票が来れば本船へ連絡するようにしているので、求人票を出して欲しい。
⇒生徒が興味のある企業については、学校から説明などをお願いしている。
⇒長崎県が主催する進路ガイダンスに参加している。ただ、運輸局の就職セミナーには、乗船実習と時期が重なるため、参加できていない。
- ・生徒に内航海運に興味を持たせる方法はあるか(会社)
⇒視覚や聴覚に訴えるなど、内航海運を身近なものにすることだと思う。最近、CMを流している内航海運の企業もある。
⇒就職先の選択には、保護者考えが大きく左右されるので、保護者にタンカーは安全だということを認知させることも重要。親の反対を押してまで就職しない傾向。
- ・若い船員を定着させるために何か取り組んでいるか(先生)
⇒これまで良いところばかり説明してきた。今は、現実を正確に説明している。学生と社会人とは環境の差が激しいため辞めていく傾向がある。そのため、入社後にセミナーを実施して、自分で稼いで生活する社会人としての教育をしている。特に、船内では「指示待ちではなく自分でやる。分からないことは聞くこと。」を徹底してやっている。

- ・女性で船員を目指す方はいるか（会社）

⇒当校ではない。

- ・学校訪問をする時期として一番良いのは

⇒当校は企業などが直接生徒へ説明会などを開くようなことはしていない。そのため、毎年度末に1・2年生合同による「進路ガイダンス」を開催している。1年生で何となく聞いて、2年生で船種を決めて3年生に進んでいる状況。当校の生徒の特長としては、先ず船種から入っていき、保護者の意見を重視しながら就職先を決めている。

(学校側の課題)

- ・学校の課題としては、教育機関の実習では「危険・きつい」などを体験させることが難しくなってきていること。また、船の事を教える教員が不足している状況であること。

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	大分県立海洋科学高等学校
訪問年月日	令和5年3月22日(水) 13:20～15:50
訪問者 9社、11名	庭瀬(明神海運(株))、岩永(浜崎海運(株))、西田・馬場(シヨクユタンカー(株))、松本(松盛汽船(株))、重信(日本ガスライン(株))、佐藤(浪速タンカー(株))、本多(株六青和シッピング)、山田(明和タンカー(株))、小野田(株六甲船舶)、薄墨(西部支部)
学校側面談者	佐藤進路指導主任、井餘田進路指導副主任、ほか4名
実施事項	①先生との懇談 ②生徒との懇談(年生20名、専攻科1年生9名)

懇談・意見交換概要(別紙添付も可)

【生徒との懇談】

・DVD視聴後、ブース形式による懇談会を実施。事前に生徒にアンケートを実施し、9つ班を形成して、1回15分の説明を行う。これを4回ローテーションする方法で実施した。そのため、ブースが空になることはありませんでした。

(生徒からの質問)

◆Wi-Fiの環境について教えてください

⇒Wi-Fi環境はほぼ整備されていると思いますが、整備されていない船は、随時整備を進めています。

◆乗組員は海技免状以外にどのような資格・免許が必要ですか

⇒海技免状以外に必要な資格はありませんが、甲板の人は無線資格があると、航海士として雇入れが出来ます。ただ、危険物を積載するので、会社に入って危険物取扱責任者の訓練を受けてもらうことになります。

◆資格を取得する際の費用はどうなりますか。

⇒会社が負担しますが、海技免状については、自己負担となります。

◆船内の部屋は何人部屋ですか。

⇒1人部屋になります。部屋には机・ベッド・手洗い・冷蔵庫・テレビなどがあります。

◆司厨長は乗船していますか。

⇒司厨長が乗船している場合は、司厨長が食事を作ります。乗船していない場合は、自分たちで食事を作って食べることとなります。船には大型の冷蔵庫あるので、仮バースを取って各自でスーパーに買い出しに行くこととなります。ただ、司厨長が乗船していない場合は、乗船日数に応じて食料金を支払っています。

◆乗船する時は、船の停泊場所に合わせて移動するのですか。

⇒そうなります。2～3日前に乗船予定を連絡し、停泊場所で乗船することになります。

◆陸上勤務になることもありますか。

⇒もちろん陸上勤務の可能性もゼロではありません。どちらも経験することはキャリアアップにもつながりますが、陸上勤務は自分のタイミングではなく、会社の辞令が出たらの話になります。

◆乗船中の休暇はありますか。

⇒出来るだけ1週間に1回はお休みを設けるようしています。仮バースの際には、下船して食料品の買い出しや乗組員同士で外食をしたりしています。

◆ドック時の作業はどのような作業をするのですか。

⇒航海中に出来ない箇所の保守整備作業をすることとなります。



◆休暇はどのくらいですか。

⇒だいたい75日～3ヶ月乗船で1ヶ月程度の休暇となります。ただ、休暇中に講習などを受けてもらうこともあります。

◆ケミカルタンカーの印象を教えてください。(会社)

⇒体に良くないとか、いい印象はありません。ただ、そういう知識を勉強して自分自身が気を付けて作業を行えば、特に危ないとかは思いません。



【先生との懇談】

◆卒業生が会社に入社し退職した場合、進路指導の先生に連絡が来るのですか。(会社)

⇒学校側に相談する以前に、生徒同士、先輩などと Line での情報交換をしている状況。最近では、先輩が入っている会社に就職する傾向がみられます。また、運輸局が実施する海技者セミナーなどで興味を持った会社に就職する傾向があります。自分で開拓した会社に就職する者はいないようです。

◆離職率の情報などはありますか。(会社)

⇒離職率に関する情報はないが、早い人は2週間で退職する者も居る。先輩が指導するなどしていれば長く続いているようだが、年が離れると難しいようです。昔のようなパワハラ的な教え方では、今の生徒たちは長続きしません。

⇒特に、今年の卒業生は、コロナ世代なので4月からいきなり負荷がかかると、ついていけなくなって、居場所がなくなり退職となるケースもあるのではと心配しています。メンタル面が弱いので、人間関係がとて重要になると考えます。

◆航海と機関の割合はどうでしょうか。(会社)

⇒生徒の割合は、航海・機関・食品と3分の1ずつとなっています。機関については、なかには陸上でも良いという者もいます。

◆タンカーの甲板部を希望する者は、配管図がネックになると思っている。在学中に勉強しておいた方が良いというものがあるか。また、海技試験問題にも多く出題されており、配管図を勉強する上で良い教材などがあれば提供して欲しい。(学校)

⇒内航タンカー安全指針やケミカルのP & Aマニュアルなどが参考になるのではないかと。

◆企業側から求められる人材とは。(学校)

⇒元気に挨拶が出来ること。分からないことを説明できる意思表示が出来ること。

◆最近の生徒さんの資質などについて教えて欲しい。(会社)

⇒専門性の資質があるかは不明であるが、中には海技免状の2級にチャレンジしている生徒もいる。また、一人になりたがる子が多く、人と交わるのではなく個になりたがる傾向が見受けられる。

⇒以前は、船員と陸上職の給料差が大きく、魅力を感じていたようだが、最近では、陸上も初任給が高くなっているため、船員になる魅力が無くなってきている。

【学校側からの要望】

◆タンカーなどでインターンシップなどの取組が出来ないか。そうすれば、離職率も低くなるのではないかと考えています。

⇒インターンシップについては、教育委員会や実施する際の費用面、更には乗船できる船舶の選定など課題が多くあると思いますが、取り組んで行くことが重要と考えます。

【ブース形式による生徒との懇談】

◆参加された組合員の方からは、おおむね評価を得たものの、時間が15分と限られていたこともあって、もう少し時間が欲しいとのご意見がありました。

◆ブース形式での実施については、学校側からの協力が不可欠だと感じてきます。

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	宮崎県立宮崎海洋高校
訪問年月日	令和4年12月13日（火） 13:40～15:30
訪問者 1名	薄墨（西部支部）
学校側面談者	前田進路指導部長
実施事項	①先生との懇談 ②ガイダンス参加（1年生57名、2年生60名）

懇談・意見交換概要（別紙添付も可）

（先生との懇談）

◆今年の卒業生の就職先について

⇒船員として就職した生徒46名中22名。内航タンカーは8名

◆3年生の内定状況について

⇒油送船6名、LPG・セメント・ケミカル4名、RORO船1名、漁船1名 など

◆最近の入試状況について

⇒ここ最近は、定員120名に対して5～6割の入学状況。宮崎県内の中学の生徒数に対して、高校定員の方が多き状況となっている。

◆入学者を増やすための方策が何かありますか。

⇒入学者を増やすためには、水産高校から就職する場合のメリットを示す必要があるのではないかと。また、中学校への出前講座などを積極的に実施して、生徒や先生に対して内航海運に重要性などについて理解を深めていく必要があると考える。

◆今日のガイダンスでは、内航タンカーの人気の高かったように感じたが、何か理由があるのでしょうか。

⇒内航タンカーに就職したクラブの先輩が学校を訪ねる際、多くの差し入れをしたり高級車に乗って来校したりするのを見ているため、内航タンカーに就職すると、自分たちも後輩に同様のことができるかと憧れがあるのではないかと。

◆学校が抱えている問題やタンカー業界への要望などありますか。

⇒卒業生の話を聞くと、乗船中に乗船期間中に休暇の延長を知らされているようで、休暇が予定どおりでないかと複数の会社で聞きます。そういった船会社さんを生徒は敬遠するので、休暇は乗船前の予定通りに与えるようお願いしたい。

（ガイダンスの概要）

漁業・建設業・運輸業・卸売行・小売業・サービス業・公務員・進学などの業種が35のブースを設置し、1年生と2年生に対して将来の進むべき方向性を探ることを目的として開催されました。

1. 参加対象

1年生57名、2年生60名（うち航海・機関類型：26名）及び希望保護者

2. 内容（時間割で巡回する形式）

- 1部 13:40～14:05 （25分間）
- 2部 14:10～14:30 （20分間）
- 3部 14:40～15:00 （20分間）

3. 全国内航タンカー海運組合ブース訪問者の状況

- 1部 8名（全て2年生）と保護者1名
- 2部 10名（うち2年生2名）
- 3部 6名（全て1年生）と保護者4名

4. 説明内容

2年生には、内航タンカーのDVD視聴。1年生には、内航海運における内航タンカーに関する資料を説明。また、すべての生徒に他の船種と違う内航タンカーの荷役動画を視聴してもらうとともに、内航タンカーを紹介しているYouTubeがあることを伝えた。

なお、訪問者全員に内航総連合会のパンフレットを配布した。

5. すべての生徒に同じ質問

◆内航タンカーのイメージについて

⇒ほぼ生徒全員が危険なものを運ぶので、危ないというイメージを持っていた。特に、保護者は子供を就職させるうえで、その点を非常に心配しているようであった。

※内航タンカー船が危ないというイメージは根深いように感じた。そのため、それを払拭するため、危険物を運んでいるが、正しい知識とルールに則って対応すれば、とても安全な船であることなどを説明するなど、少しでも危ないというイメージを払拭できるよう努めた。

◆内航タンカーのどんなところに魅力を感じるか。

⇒ほぼ全員、給料が高いところに魅力を感じているとの回答であった。ただ、1年生と2年生ではその考え方は違っているようだった。

学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	鹿児島県立鹿児島水産高校
訪問年月日	令和4年12月9日(金) 13:55~15:50
訪 問 者 4社、5名	本多(株六青和 Shipping)、重信(日本ガスライン株)、百本(有百本海運)、 辻村・栢井(国華産業株)、薄墨(西部支部)
学校側面談者	兒玉進路指導部主任、九鬼教諭、川添教諭、赤崎教諭、前山教諭
実施事項	①先生との懇談 ②生徒との懇談(2年生24名)
懇談・意見交換概要(別紙添付も可)	
<p>(先生との懇談)</p> <p>◆就職に関する現況について(先生)</p> <p>⇒就職希望先の現状としては、漁船が少なく、タンカーやカーフェリーを希望する者が多くなっている印象があります。甲板10名中9名が商船で、漁船は1名、ただ、商船にどのような船種があるか分かっていないというのが現状です。</p> <p>⇒学科の現状としては、専攻科6名中1名が内航タンカーに就職しています。また、本科の機関部15名中2名が内航タンカーに就職しています。</p> <p>⇒機関部2年生は3学期に乗船実習があるので、それを体験して進路を決めていくものと思われます。</p> <p>⇒企業の選択については、卒業生が在籍している会社を選ぶ傾向があります。新規の企業については、説明会に参加した会社から選んでいるようです。</p> <p>◆内航タンカーは、危険であるとのイメージを父兄方が持たれている。学校側も生徒に内航タンカーは、安全であるということを伝えて欲しい。(会社)</p> <p>⇒親族に船乗りの方がいる生徒は、親族の方からケミカルタンカーなどの話を聞いているのが、要因ではないか。ただ、生徒たちは、ネガティブなイメージを持っておらず、かえって給料が良いというイメージを持っている。</p> <p>授業で内航タンカーは、ルールを守れば危険でないことを生徒には説明しているが、生徒から父兄へ伝わっていないため、危険であるとのイメージが払しょくできていないように感じています。生徒は、給料が良いことだけしか伝えていない。</p> <p>◆昔のままのイメージを払拭していきたいが、安全をアピールする教材的なものがあればどうか。(会社)</p> <p>⇒保護者に対して、内航タンカーが安全だというイメージを伝える資料があれば良いと思う。</p> <p>◆生徒が退職する原因について分かれば(会社)</p> <p>⇒退職した生徒たちに聞いたところ、労働時間について求人票に記載されている内容と実際の労働時間の内容が違っていること。単発的であれば良いが、この状態が続くと給料が高くてもいやになると言っている。また、休暇サイクルなど、求人票の内容と現実が違っている点なども退職理由のようです</p> <p>◆学校では定員割れなどはないか(会社)</p> <p>⇒海洋科は定員割れしていない。県内でも倍率は上位となっています</p>	

(生徒との懇談)

◎DVD視聴

◎参加各社より自社の紹介

◆船に乗り組んでいる人数はどのくらい (生徒)

⇒乗り組み人数は、船の大きさによって法令で定められています。わが社の999トだと9名乗船、507トで常時6名、749トで6~7名乗船しており、新人さんが乗船する場合は、先輩を付けるため7名乗船しています。

◆船内で甲板部と機関部の割合はどのくらい (生徒)

⇒これも法令で決まっています。750ト以上が甲板部は2人ワッチで6名、それ以下であれば3名。機関部はアラームなどの活用により2名又は3名となっています。

◆現時点で就職したい船種を決めていますか。(会社) ⇒8名中、商船7名、漁船1名

◆タンカー船のイメージを聞かせてください。(会社) ⇒危ないイメージ24名中7名

※タンカー船は、危険物を運んでいるが、正しい知識とルールに則って対応すれば安全であり、タンカー船を危ないというイメージで見ないで欲しい。

また、ケミカルは、製品が変わるたびにタンククリーニングしなければいけないが、クリーニングといえば、タンク内に入って掃除をするイメージを持っていると思うが、今は人が入ることなく、機械がやっており液体やガスに触れることはないので安心してください。

◆船員として必要な資質や今のうちに身に付けておいたら良いというものがあれば教えて欲しい。(生徒)

⇒船内では決まりを守ること。会話はした方が良い。先輩の仕事を見たり、自分がした仕事で、分からないことがあれば直ぐに聞くことが大事です。

◆乗船実習でつらかったことは何か。(会社)

⇒実際に仕事の充実感を味わえて乗船実習は楽しかった。ただ、船酔いがつらかった。

※実習船は1部屋4人だが、我々の船は1人1部屋でWi-Fiも完備しており、携帯も使えるので、皆さんの実際の生活とそんなにかわりません。

◆部員から職員へどのくらいの期間必要か。(生徒)

⇒甲板部員から職員へは標準的で2~3年、後は、やる気と資格によっても早く昇進する。だいたい15年くらいで船長になっています。

◆航海中に問題があって一番いやなことは何か。(生徒) ⇒船員さんが船内で怪我や病気をしたとき。

◆燃料油は、A・Cどれを使っていますか。(生徒) ⇒A重油を使っています。

◆入社して定年までいる割合はどのくらいか。(生徒) ⇒約1割程度です。3年くらいで辞める方が多く、人間関係が主な要因です。

◆給料が高いので船乗りになろうと思った人(会社) ⇒10名

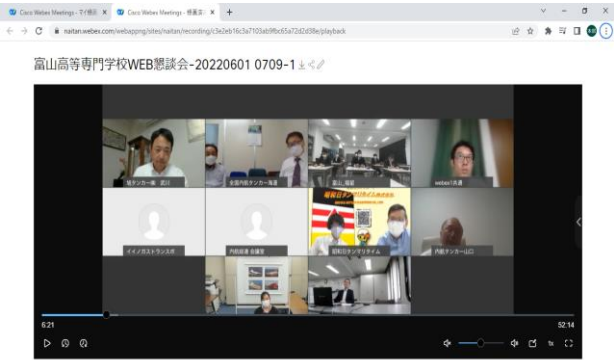
◆タンカー船に乗っている人で既婚者は何割くらいか。(生徒)

⇒結婚していない人は1割程度で、既婚率は高いと思います。

◆休暇を大事にするか、給料を大事にするか。 ⇒給料9人、休暇15人



学校訪問 報告書

訪問学校名	国立富山高等専門学校（WEB懇談会）
訪問年月日	令和4年6月1日 15:45～17:00
内タン参加者 3社、8名	武川（旭タンカー(株)）、亀ヶ川・泉（昭和日タンマリタイム(株)）、米倉（イイノガストランスポート(株)）、山口・目次（内タン本部）上村・四宮（内タン関西・薬槽船）
学校側面談者	笹谷先生、福留先生、保前先生
実施事項	(1) 生徒全体説明（3、4、5年生）(2)先生との情報交換、
懇談・意見交換概要	
<p>(生徒との懇談)</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加生徒 5年生(デッキ)D4名、4年生 D2名、(エンジン)E2名、3年生 D1名 内航タンカーDVD視聴後に、各社より自社の紹介 	
<p>(生徒からの質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加各社の会社の特徴と強みを教えて欲しい？ 陸上の甲種危険物資格は必要か？ LNG等の代替エネルギー燃料船に乗る際に必要な資格は？ 社内に内航と外航船がある場合、乗船希望は出せるのか？ 現状コロナ禍、インターンシップは可能か？ 船員に求める人材は？ 女性船員が乗っている船で、女性船員の特別な特徴や船内の変化などは出るか？ 各社の定着率を教えて欲しい？ 	
<p>(先生との懇談) 進路・生徒指導について</p> <ul style="list-style-type: none"> 5年生は海上志望が多く、半数以上は乗船希望 41名中、デッキ19名、エンジン22名 外航船への就職は無い。 女子生徒が増えているので、就職も考慮して欲しい。 	
<p>(船社からの感想)</p> <ul style="list-style-type: none"> 以前の訪問時は、内航船への興味は薄いように感じたが、状況がずいぶん変わった。 	

(以上)

学校訪問報告書	
訪問学校名	国立鳥羽商船高等専門学校
訪問年月日	令和 4年 5月 20日
訪問者 5社、6名	北（日新船舶株） 松波（榊辰巳商会） 白石（白石海運株） 小野田（榊六甲船舶） 浜崎（浜崎海運株） 上村（事務局）
学校側面談者 （氏名・役職）	和泉校長 窪田教授
実施事項（○印）	(1)生徒全体説明 ○(2)学校側懇談 (3)個別就職相談 (4)懇親会
懇談・意見交換概要（別紙添付も可）	
<p>・先生との懇談内容（13：00～13：20）を実施</p> <p>・生徒への出前授業（13：20～15：30）を実施</p> <p>◎先生との情報交換</p> <p>13：00～13：20</p> <p>和泉校長と窪田教授との意見交換会 実施。</p> <p>北委員長・和泉校長あいさつの後、情報交換</p> <p>同校の練習船が建造されることになる。</p> <p>3年後150周年となる旨、説明。海上勤務希望者が多い（特に内航）ので、求人をお願いしたい。</p> <p>以上の説明がなされた。</p> <p>◎生徒への出前授業</p> <p>13：20～15：30</p> <p>参加者生徒 5年生 27名（航海13名・機関14名）</p> <p>13：20より 出前授業</p> <p>13：25 DVD活用にてタンカー船員の仕事・休暇体制・仕事内容・労働環境などについて松波氏より説明。</p> <p>13：50 4グループに分かれ、20分ずつのグループトークを実施</p> <p>1グループ 現地参加者 北氏・小野田氏</p> <p>2グループ 現地参加者 松波氏・白石氏・浜崎氏</p> <p>3グループ WEB参加者 昭和日タンマリタイム株・国華産業株・コーウンマリン株・本部目次氏</p> <p>4グループ WEB参加者 旭タンカー株・イイノガストラנסポート株・薬槽船四宮氏</p>	





グループトークで生徒から出された質問と説明（抜粋）

1. タンカー船における乗船期間、休暇サイクルについて

- ・ 3ヶ月乗船の1ヶ月休暇が基本です。
- ・ 2カ月乗船で20日休暇もあります。
- ・ 日帰りの船もあります。（基地に戻る）
- ・ 各社それぞれ対応をして努力されていますので、会社訪問等で情報を把握して自分に適した会社に臨むことをお勧めする。

2. 女性船員について（採用されるか？何人程度か？現在の女性の比率）

- ・ 最近では、女性を採用する会社が増えているのも確かです。
- ・ ある会社では、10名/200名（船員総数）・4名/170名（陸上2名含む）
各社それぞれ対応が違うので、この問題も十分情報を把握してから会社を選んでください。

3. 機関部のポスト及びキャリアパスを教えてください。

- ・ 船の大きさにもよるが、2～4名程度。最初は先輩について学んでいただく。
- ・ 機関部は甲板部に比べると昇進は早いですが、上位職が多ければやはり昇給は遅くなる。

4. 新人船員が上司とうまくやっていく方法は？

- ・ 挨拶・報告・連絡・相談をきちんとすること。
- ・ 先輩の指導がそれぞれ違うが、柔軟に対応できるようになること。
- ・ チームワークを大切に人の事を気遣えるようにすると自然となじめる。

5. タンカーの仕事のやりがいメリットは、

- ・ コロナ禍でも原油を採取できない日本では油輸送はなくてはならない仕事
- ・ 人の生活を支えている。（国内エネルギーを支えておる。）

6. 荷役作業は忙しく、女性でも対応可能でしょうか。

- ・ 荷役は忙しいですが、荷役バルブも自動で行えるし、アームもあるので大丈夫で、対応可能です。中には重たいのもあるのでその時は無理をせず仲間の船員さんに頼みましょう

7. タンカー船でのルールの厳しいところは

- ・ 安全管理が厳しいと思います。そのため安全マニュアルがあり、乗船前に夫々の会社で、教育などを実施しています。

以上

学校訪問 報告書

訪問学校名	国立広島商船高等専門学校（WEB懇談会）
訪問年月日	令和4年10月27日 13:20～14:50
内タン参加者 6社、11名	久保山（幸洋汽船株）、小野田（株六甲船舶）、山田（明和タンカー株）、市川・米倉（イカガストランスポート株）、亀ヶ川・泉（昭和日タンマリタイム株）武川（旭タンカー株）、力石（内タン中国支部）、山口・目次（内タン本部）
学校側面談者	河村先生、内山先生、茶園先生
実施事項	(1) 生徒全体説明・懇談（商船学科3年生） (2) 先生懇談
懇談・意見交換概要	
<p>(生徒との懇談)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年生42名（D22、E20）（うち女子11名）とWEB懇談会実施 ・内航タンカー紹介DVD視聴、訪問各社自社紹介の後、生徒と懇談 <p>(生徒からの質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各社が平均年齢を説明した意味は？ ・給料はどのくらいもらえるか？ ・各社、育児休暇や福利厚生の具体策を教えて欲しい？ ・女性船員の受入状況はどうか？ ・女子船員の船内生活空間は、隔離されているのか？ ・船員経験のある方への質問で、乗船前と乗船後に感じたギャップは？ ・各社への質問で、会社のセールスポイントを教えて欲しい？ ・学生のうちに身に付けておいた方が良い資格はあるか？ <p>(船社からの質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校生活は楽しいか？ 代表生徒より、個性のある仲間と囲まれ大変充実しているとの回答 <p>(先生との懇談)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5年生41名の進路は、デッキ15名中、海上に12名、うち2～3名がタンカー、エンジン26名中、海上に19名でタンカーは0名。 ・7～8割の生徒が寮生活。 ・本日参加の3年生は、コロナ禍の影響で本来実施すべき航海実習が出来ておらず、船内生活の実感が湧いていない。航海実習は4～5年生の間で調整実施され、就職活動の期間が制限されるので、各船社の理解・協力を願いたい。 ・対面面接の可否について各船社に質問があり、基本的に対面、WEBどちらも対応可能と回答。 <p>最後に今後の協力をお互いに確認し、懇談会を終了した。</p>	
(以上)	



学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	国立大島商船高等専門学校
訪問年月日	令和5年1月11日(水) 15:30~17:00
訪 問 者 8社、13名	横山(NS ユナイテッドタンカー(株))、辻村、栴井(国華産業(株))、阿久津(旭タンカー(株))、山田(明和タンカー(株))、山下、山本(コーウン・マリ(株))、合田、橋本、宮崎(トクヤマ海陸運送(株))、岩永(浜崎海運(株))、奥原(TS マリン(株))、山口(本部)計13名
学校側面談者	商船学科 久保田崇教授、清水聖治教授(商船学科実習生担任 機関コース就職担当)
実施事項	① 先生との懇談 ② 学生との懇談(3年生39名)
懇談・意見交換概要(別紙添付も可)	
<p>鉄道利用の参加者には事前連絡し、大島駅から同じバスに乗り纏まって訪問した。</p> <p>(学校側との懇談) 15:30~16:00 於図書館棟2階グループ学習室 学校側参加者:久保田崇教授、清水聖治教授</p> <p>自己紹介の後、意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆定員 商船学科40名(航海20名、機関20名)40名枠で入学し、3年進級時に振り分ける。その他の学科として電子機械工学科(40名)、情報工業学科(40名)がある。 ◆商船学科複数校志望受験制度(弓削、広島、大島の3校で囲い込み)あり。 大島商船は2016年発生のいじめ事件報道の影響で募集に苦戦。広島を落ちた受験生が入学というケースもある。 ◆機関科志望学生が少なく苦慮、学校訪問時に現役機関士も訪問し仕事の魅力を伝えて欲しい。 ◆就職説明でイベント会社が主催するセミナーにエンジンメーカーが多く参加している。船会社もしくは団体もそういうイベントに参加し乗組員として取り込むようにしては如何。 <p>(学生との懇談) 16:00~17:00 於図書館棟1階</p> <p>航海科21名(内女性2名)、機関科18名</p> <p>◎内航タンカーのDVD及び荷役状況のビデオを視聴</p> <p>◎各社自己紹介の後、質疑応答(質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆在学中の海技関係資格取得について。 ◆平水船の休暇サイクルについて。 ◆陸勤の業務内容について。 ◆女性船員用設備について。 ◆育児休業について <p>◎タンカー勤務に興味を持ったかの質問に対し、半数以上が挙手をした。</p>	